

令和7年度 数字で見る新発田市



目次

新発田市・各地区の紹介ほか...	2・3
気象・土地利用状況.....	4
人口・産業.....	5～7
商業・市民経済.....	8
工業.....	9
農業.....	10
保健・福祉・教育.....	11・12
都市整備.....	13
財政・公園.....	14・15
観光・保存樹木.....	16・17
指定文化財一覧ほか.....	18・19
市内施設.....	20～25
名誉市民・歴代市長ほか.....	26～29
新発田市のあゆみ.....	30～34
市民のくらし.....	35

■新発田市を紹介します

●市章



五階菱

新発田藩歴代藩主溝口家の紋章を市章にしました

●市の花：あやめ



●市の木：さくら



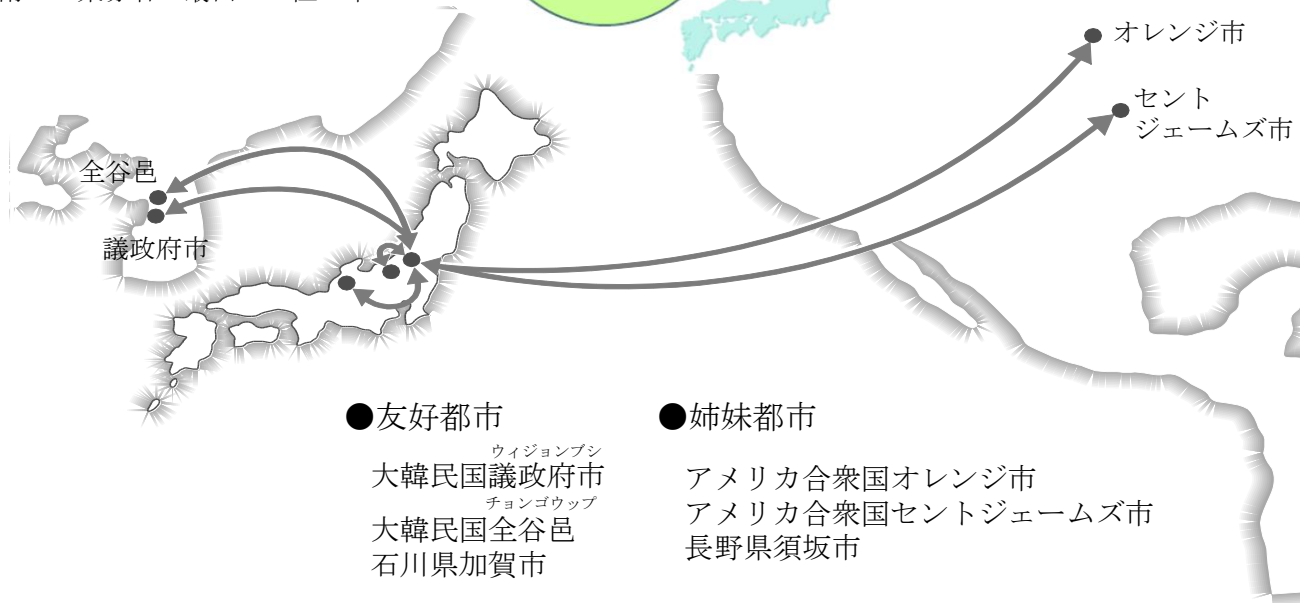
●市の位置

北緯 37° 47'17"～38° 02'58"

東経 139° 14'30"～139° 40'55"

最北.....藤塚浜 最東.....東赤谷

最南.....東赤谷 最西.....佐々木



●友好都市

ウィジョンブシ
大韓民国議政府市
チョンゴウップ
大韓民国全谷邑
石川県加賀市

●姉妹都市

アメリカ合衆国オレンジ市
アメリカ合衆国セントジェームズ市
長野県須坂市

新発田市は、越後平野（新潟平野）の北部に位置し、県都新潟市に隣接する都市です。面積533.11km²（令和7年1月1日国土地理院公表）、人口9万1,157人（令和7年3月末現在）です。

北西には白砂青松と形容される美しい海岸が広がり、南東の山岳地帯には豊かな自然景観に恵まれた磐梯朝日国立公園、胎内二王子県立自然公園があります。また、かつて東洋一といわれた堤桜を有する加治川の水系によって潤う肥沃な土地が広がっており、県内有数の良質米コシヒカリの産地でもあります。

江戸時代末期には10万石の城下町として栄えた新発田。現在も国の重要文化財となっている新発田城表門や旧二の丸隅櫓、足軽長屋など、城下町新発田の文化遺産をまちの随所にとどめています。そして平成16年には、城下町新発田の新しいシンボルとして、また、未来を担う子どもたちへの贈り物として新発田城三階櫓・辰巳櫓が復元されました。

昭和22年に市制を施行してから、昭和30年に五十公野、米倉、赤谷、松浦、菅谷、川東の6村、昭和31年に加治川村の一部、昭和34年に佐々木村と合併しました。平成に入り、15年7月7日に豊浦町と、また17年5月1日には紫雲寺町・加治川村と合併しました。

城下町の歴史と文化、全国的にも有名な月岡温泉、山から海までの豊かな自然など、たくさんの魅力を持つ新発田市は、「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」を目指し、これからも発展していきます。

■各地区の紹介



れんぎょう



ムクゲ



きく



さくら草



秋桜



芝ざくら

紫雲寺地区の花



松

紫雲寺地区の木



あじさい

豊浦地区の花



梅

豊浦地区の木



桜

加治川地区の木

地区の花・木とは

合併後、新発田市の花・木はそれぞれ「アヤメ」と「サクラ」で統一されました。これにより、合併前の豊浦町・紫雲寺町・加治川村の花・木は、今後、それぞれの「地区の花・木」として伝承していくこととなりました。

■新発田市へのアクセス



●日本海沿岸東北自動車道

区間は新潟～青森間322km。昭和49年に新潟、青森、秋田、山形の4県で建設促進期成同盟会を結成、58年には県北24市町村で同様の建設促進新潟地区期成同盟会を結成し、早期実現に向けた運動を展開しています。

新潟県分は、平成5年11月に新潟～中条間27.5kmに施工命令が出され、8年8月建設工事に着手。10年4月には中条～荒川間9.8kmの、同年12月には荒川～朝日間20.4kmの施工命令が出されました。14年5月には同自動車道の県内初の開通となる新潟空港IC～聖籠新発田IC間（日本海東北自動車道）の供用が開始。23年3月には朝日まほろばICまで開通しました。

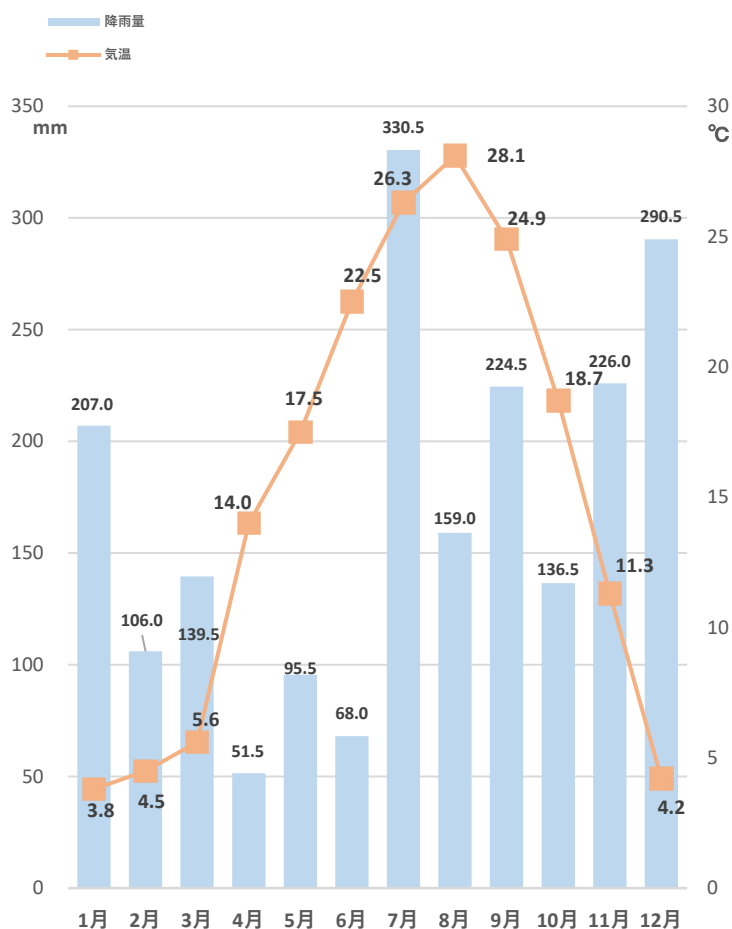
●磐越自動車道

昭和60年2月、建設大臣から日本道路公団総裁に新潟～津川間の施工命令が出され、平成元年建設工事に着手、6年7月には新潟～安田間の供用が開始されました。9年10月には最後の未供用区間であった西会津～津川間が開通し、全線開通しました。現在は、新潟県と福島県、仙台をはじめとする東北地方、北関東など、たくさんの方に利用され、産業、交通の大動脈となっています。

J R	秋田方面から	羽越本線－新発田駅下車
	東京方面から	上越新幹線－新潟駅－白新線－新発田駅下車
	大阪方面から	信越本線－新潟駅－白新線－新発田駅下車
空 路	新潟空港より車で30分 新潟空港→シャトルバス（約20分）→新潟駅	
車	北陸自動車道	関越・北陸自動車道－日本海東北自動車道－聖籠新発田IC
	磐越自動車道	安田IC－国道290号－新発田市

■ 気象

● 令和6年月平均気温・降水量
(資料提供：新発田消防署)



● 過去5年の最大積雪深 (単位：m)

年度	R2	R3	R4	R5	R6
市街地	1.30	0.71	0.86	0.43	0.89
赤谷	2.34	1.68	1.38	0.67	2.03
菅谷	1.53	0.96	1.36	0.64	1.73
豊浦	1.50	0.50	0.75	0.52	0.79
紫雲寺	0.95	0.28	0.39	0.32	0.34
加治川	1.40	0.53	0.85	0.53	0.68
平均	1.50	0.78	0.93	0.51	1.08



■ 土地利用状況 (令和7年1月1日現在)

区分	面積(k㎡)	構成比(%)	区分	面積(k㎡)	構成比(%)
田	99.73	18.7	牧場	0.23	0.05
畑	17.63	3.3	原野	5.86	1.1
宅地	24.56	4.6	雑種地	11.13	2.1
池沼	0.26	0.05	その他	308.18	57.8
山林	65.53	12.3	計	533.11	100

※山林は国有林（無地番）を除く。

※その他は国有地（無地番）・国有林（無地番）を含む。

資料：令和7年度土地概要調書

■人口

合併前のデータは、旧豊浦町・紫雲寺町・加治川村分を合算した数値。

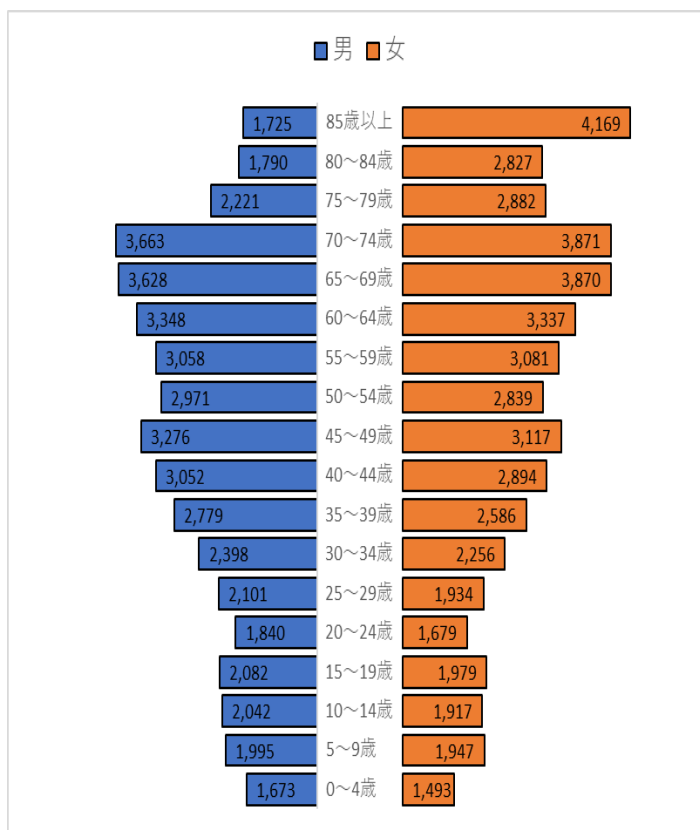
●人口・世帯数の推移

年次	人 口			対前回の人口増減		世帯数	1世帯の 平均人員
	総数	男	女	実数(人)	率(%)		
平成12年	106,016	51,244	54,772	-547	-0.5	31,925	3.29
平成17年	104,634	50,431	54,203	-1,382	-1.3	32,958	3.12
平成22年	101,202	48,606	52,596	-3,432	-3.3	33,445	2.97
平成27年	98,611	47,412	51,199	-2,591	-2.6	34,186	2.82
令和2年	94,927	45,963	48,964	-3,684	-3.7	35,191	2.63

※「1世帯の平均人員」は施設等の世帯を除いた一般世帯数をもとに計算される。

資料：令和2年国勢調査

●人口ピラミッド



資料：令和2年国勢調査

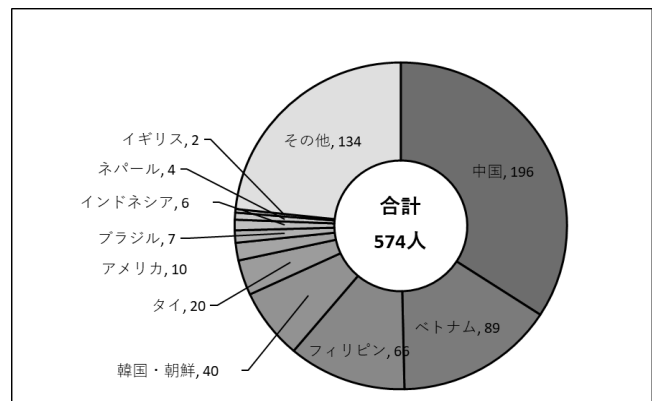
●年齢（3区分）別人口、高齢化率

年次	総数	不詳	年齢(3区分)別人口			高齢化率
			年少人口	生産年齢人口	老年人口	
平成12年	106,016	20	16,266	66,977	22,753	21.5%
平成17年	104,634	1	14,201	65,114	25,318	24.2%
平成22年	101,202	336	12,545	61,747	26,574	26.3%
平成27年	98,611	293	11,830	57,378	29,110	29.6%
令和2年	94,927	607	11,067	52,607	30,646	32.3%

※年少人口は0~14歳、生産年齢人口は15~64歳、老年人口は65歳以上を示す。

資料：令和2年国勢調査

●国籍別外国人人口



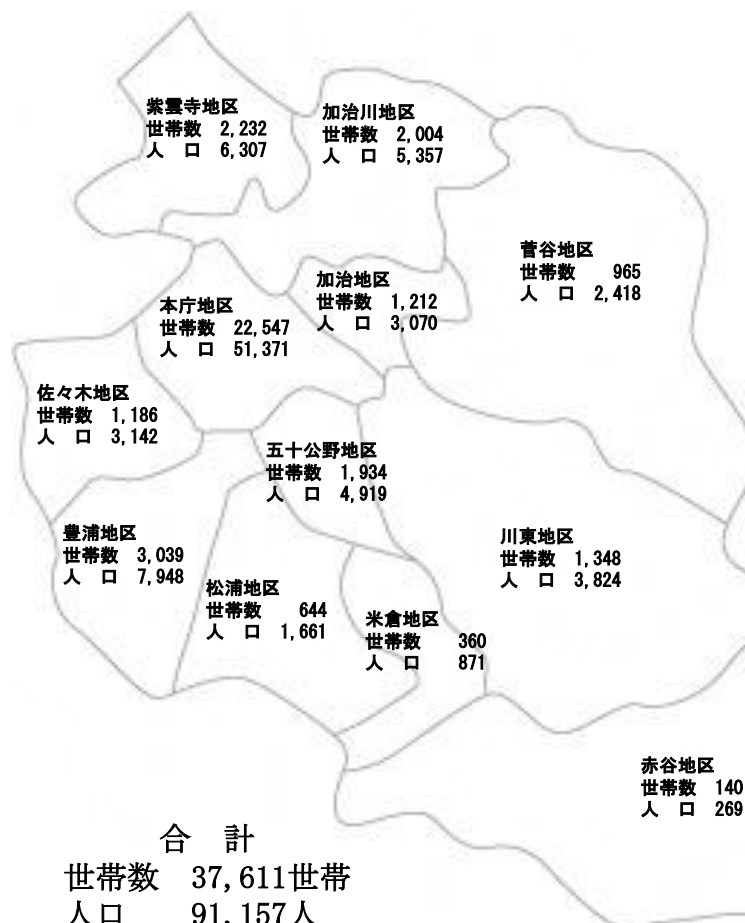
資料：令和2年国勢調査

●過去5年間の人口動態

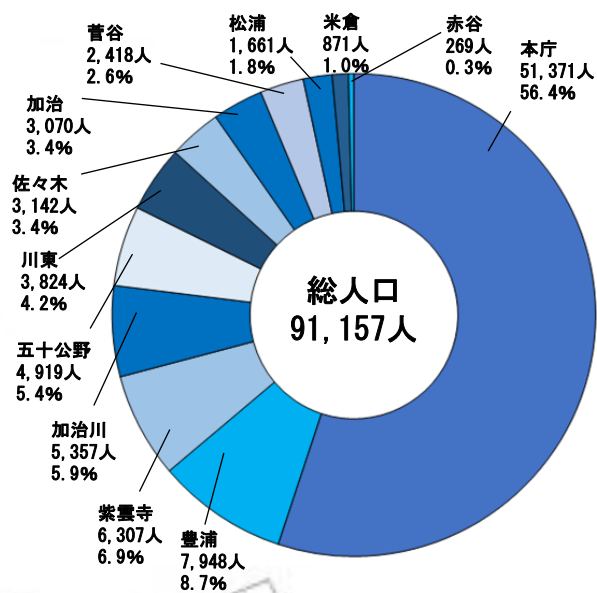
年次	1年間(10月1日~9月30日)の人口動態					
	自然動態			社会動態		
	出生数	死亡数	差引	転入者数	転出者数	差引
令和2年	578	1,333	-755	2,511	2,549	-38
令和3年	562	1,342	-780	2,324	2,472	-148
令和4年	536	1,388	-852	2,461	2,653	-192
令和5年	497	1,512	-1,015	2,367	2,607	-240
令和6年	448	1,462	-1,014	2,327	2,507	-180

資料：新潟県人口移動調査

●地区別人口・世帯数（令和7年3月末現在）



●地区別人口比（令和7年3月末現在）

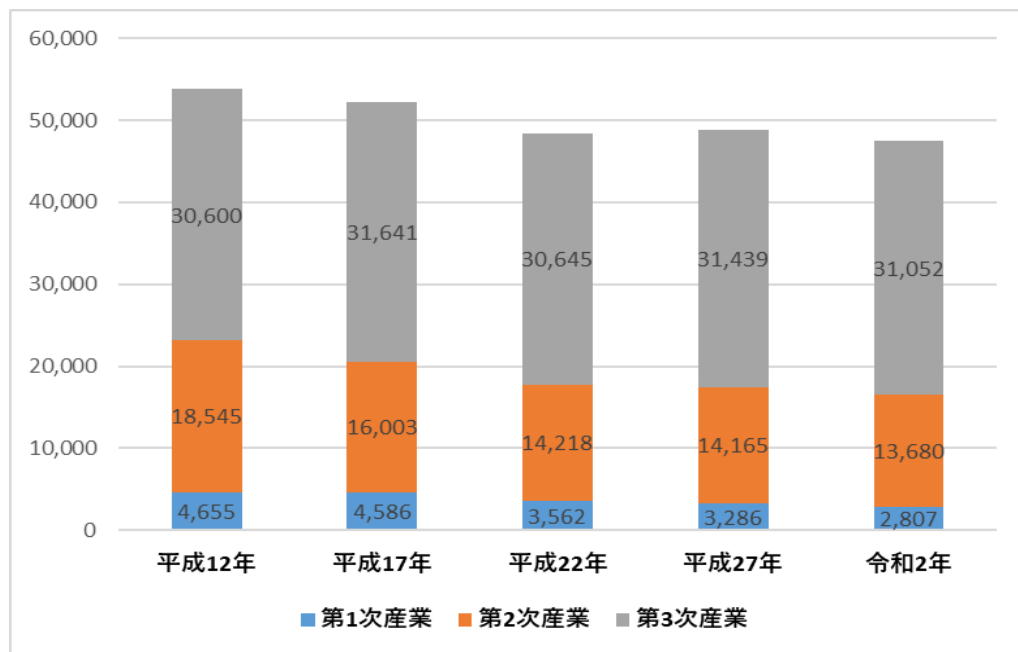


※数値は住民基本台帳人口による。

■産業

合併前のデータは、旧豊浦町・紫雲寺町・加治川村分を合算した数値。

●産業別就業人口の推移



- ※第1次産業
...農業、林業、漁業など。
- ※第2次産業
...工業、建設業など。
- ※第3次産業
...第1次産業・第2次産業のどちらにもあてはまらない産業。
商業、金融業、運輸業、情報通信業、サービス業など。

※第3次産業には分類不能の人数も含む。

資料：令和2年国勢調査

●事業所数・従業者数の推移

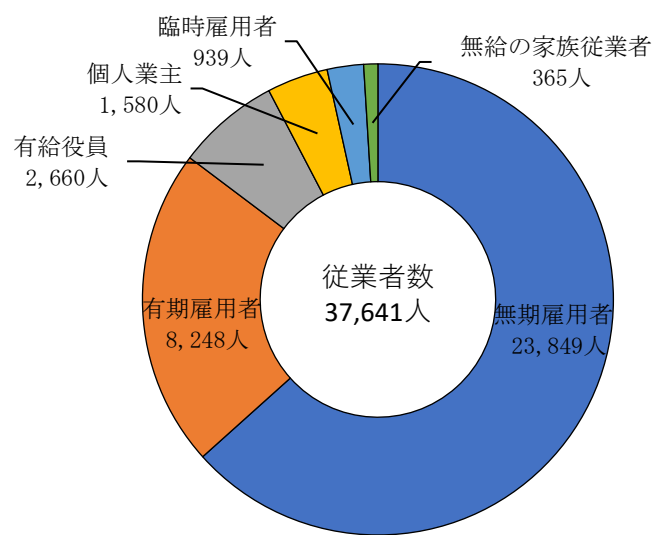
年 次	総数		民営事業所		国、地方公共団体	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
令和2年	—	—	—	—	178	—
令和3年	4,137	43,223	3,965	37,641	172	5,582
令和4年	—	—	—	—	171	—
令和5年	—	—	—	—	171	—
令和6年	—	—	—	—	171	—

※令和2・4・5・6年経済センサス基礎調査・乙調査は、国及び地方公共団体の事業所数のみを調査
資料：令和3年は経済センサス活動調査、令和2・4・5・6年は経済センサス基礎調査

●産業別事業所数・従業者数（民営事業所のみ） ●従業上の地位別従業者数（民営事業所のみ）

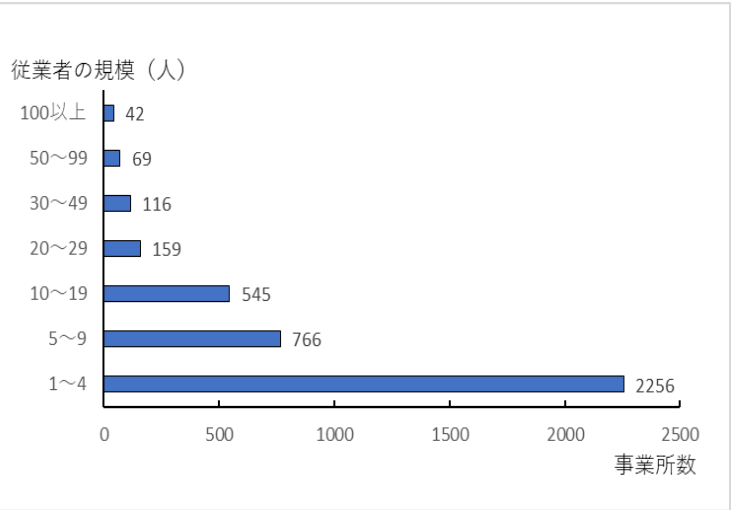
区 分	事業所数	従業者数
総数	3,965	37,641
農業、林業	93	1,291
漁業	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	2	33
建設業	460	3,474
製造業	242	7,762
電気・ガス・熱供給・水道業	4	119
情報通信業	17	77
運輸業、郵便業	61	1,330
卸売業、小売業	1,006	8,160
金融業、保険業	60	720
不動産業、物品賃貸業	196	517
学術研究、専門・技術サービス業	123	590
宿泊業、飲食サービス業	475	3,395
生活関連サービス業、娯楽業	458	2,043
教育、学習支援業	126	958
医療、福祉	343	5,126
複合サービス事業	31	381
サービス業 (他に分類されないもの)	268	1,665

資料：令和3年経済センサス活動調査



資料：令和3年経済センサス活動調査

●従業者の規模別事業所数（民営事業所のみ）



※全民営事業所のうち、12事業所は出向・派遣従業者のみ。
資料：令和3年経済センサス活動調査

商業

●年次別事業所数、従業者数、年間商品販売額、売場面積

年次	事業所数			従業者数(人)			年間商品販売額(万円)			売場面積 (㎡)
	総数	卸売業	小売業	総数	卸売業	小売業	総数	卸売業	小売業	
平成19年	1,395	231	1,164	8,581	1,836	6,745	20,423,600	9,303,100	11,120,500	164,213
平成24年	1,013	173	840	6,513	1,300	5,213	17,161,400	7,681,000	9,480,400	149,548
平成26年	955	178	777	6,612	1,284	5,328	17,257,100	7,362,200	9,894,800	161,086
平成28年	986	169	817	7,322	1,352	5,970	19,062,100	7,576,600	11,485,500	161,303
令和3年	915	163	752	7,246	1,359	5,887	18,466,500	7,594,500	10,872,000	169,796

※売場面積は小売業のみ。
※年間商品販売額は百万円単位で公表。百万円以下を四捨五入しているため、合計と一致しないことがある。
資料：平成19年は商業統計調査、平成24・28・令和3年は経済センサス活動調査、平成26年は経済センサス基礎調査

●商業の概況（飲食店を除く）

産業（中）分類		事業所数	従業者数（人）	年間商品販売額 （百万円）	売場面積（㎡）
総数		915	7,246	184,665	169,796
卸売業	各種商品	1	7	X	
	繊維・衣服等	10	42	1,753	
	飲食料品	41	514	31,095	
	建築材料・鉱物・金属材料等	42	252	7,583	
	機械器具	38	359	14,262	
	その他	31	185	X	
	計	163	1,359	75,945	
小売業	各種商品	2	376	X	X
	織物・衣服・身の回り品	84	374	6,355	23,434
	飲食料品	225	2,282	27,770	29,548
	機械器具	133	836	23,438	16,635
	その他	287	1,908	X	X
	無店舗	21	111	1,278	—
	計	752	5,887	108,720	169,796

※「—」は該当数値がないもの。「X」は1または2事業所に関する数値が明らかになるため秘匿とする。
※年間商品販売額は、百万円以下を四捨五入しているため、合計と一致しないことがある。
資料：令和3年経済センサス活動調査

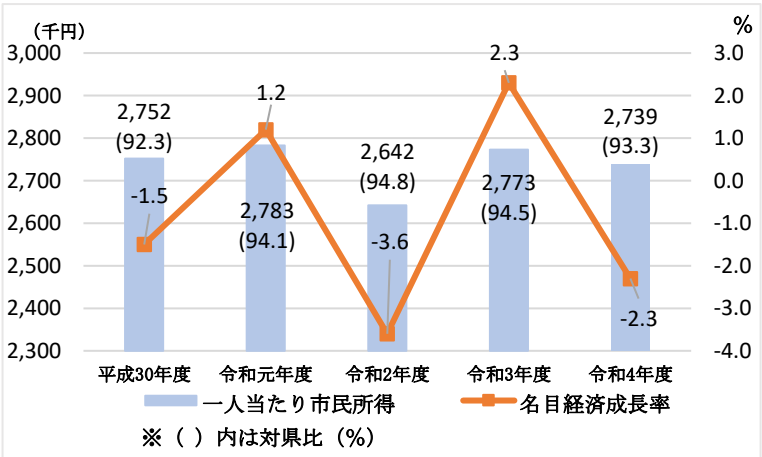
市民経済

●市内総生産額・産業別生産額

年度	総生産額 (百万円)	第1次産業 (百万円)	第2次産業 (百万円)	第3次産業 (百万円)
平成30年度	338,187	11,502	85,344	239,693
令和元年度	342,347	11,143	89,635	240,109
令和2年度	330,018	11,273	90,560	227,123
令和3年度	337,647	10,161	95,559	230,021
令和4年度	329,987	10,585	79,490	236,588

資料：令和4年度新潟県市町村民経済計算

●一人当たり市民所得、名目経済成長率



資料：令和4年度新潟県市町村民経済計算

■工業

●事業所数、従業者数、製造品出荷額等

年次	事業所数	従業者数 (人)	現金給与 総額 (万円)	原材料 使用額等 (万円)	製造品出荷額等(万円)					付加価値 額(万円)
					計	製造品 出荷額	加工賃 収入額等	くず廃物の 出荷額	その他 収入額	
平成29年	168	7,660	2,602,455	8,246,800	15,580,705	13,985,751	1,044,677	—	550,277	6,335,096
平成30年	159	6,961	2,532,925	7,491,273	14,088,023	12,447,319	1,152,800	—	487,904	5,694,483
令和元年	160	7,111	2,520,042	7,812,096	14,774,762	13,213,888	1,043,421	—	517,453	6,024,398
令和 2年	154	7,098	2,496,596	7,913,191	15,421,329	13,856,679	1,026,881	—	537,769	6,400,358
令和 3年	148	7,037	2,549,640	7,799,478	15,441,900	13,843,426	1,030,319	3,060	565,095	6,455,059

※従業者数が4人以上の事業所についての値。

※付加価値額については、従業者数が29人以下の事業所は粗付加価値額の値。

資料：平成29年から令和2年は工業統計調査、令和3年は経済センサスー活動調査

●工業の概況

産業中分類	事業所数	従事者数 (人)	製造品出荷 額等(万円)	粗付加価値 額(万円)
食料品	46	3,576	8,853,526	3,005,395
飲料・たばこ・飼料	4	166	465,502	242,714
繊維	22	300	133,796	92,949
木材・木製品	6	28	49,406	25,659
家具・装備品	3	19	19,859	6,279
パルプ・紙・紙加工品	3	103	506,139	154,729
印刷	8	309	667,460	232,603
化学	4	179	1,725,773	549,011
石油・石炭製品	—	—	—	—
プラスチック製品	7	88	88,419	26,361
ゴム製品	—	—	—	—
皮革製品	—	—	—	—
窯業・土石製品	11	214	643,818	255,098
鉄鋼	3	110	381,787	62,858
非鉄金属	1	16	X	X
金属製品	16	271	473,034	207,411
はん用機械器具	4	127	483,613	394,926
生産用機械器具	9	344	605,276	323,562
業務用機械器具	1	6	X	X
電子部品・デバイス	6	844	937,091	666,138
電気機械器具	1	42	X	X
情報通信機械器具	1	6	X	X
輸送用機械器具	—	—	—	—
その他	4	21	18,924	10,605

※「—」は該当数値がないもの。「X」は従業者規模別に集計したときに、1または2事業所に関する数値が明らかになるため秘匿とする。

※事業所数や従業者数は令和6年6月1日現在、製造品出荷額等の経理事項は令和5年1月～令和5年12月の実績。

資料：2024年経済構造実態調査



農業

合併前のデータは、旧豊浦町・紫雲寺町・加治川村分を合算した数値。

●経営耕地面積規模別農業経営体数

年次	総数	経営耕地面積規模別経営体数						
		0.3ha未満	0.3～1.0未満	1.0～2.0未満	2.0～3.0未満	3.0～5.0未満	5.0～10.0未満	10.0以上
平成22年	3,179	15	635	1,039	659	479	271	81
平成27年	2,521	26	439	750	522	410	267	107
令和 2年	1,860	54	271	468	347	328	206	186

※平成22年及び平成27年は、販売農家（経営耕地面積が30 a 以上、または農産物販売金額が50万円以上の農家）の値。

※0.3ha未満には経営耕地なしも含む。

資料：2020年農林業センサス

●農産物販売金額規模別農業経営体数

年次	総数	年間農産物販売金額規模別経営体数								
		販売なし	50万円未満	50～100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1000万円未満	1000～3000万円未満	3000万円以上
平成22年	3,179	53	375	545	1,431	337	134	110	159	35
平成27年	2,521	61	324	409	1,074	278	114	109	125	27
令和 2年	1,860	23	147	255	708	285	199		152	91

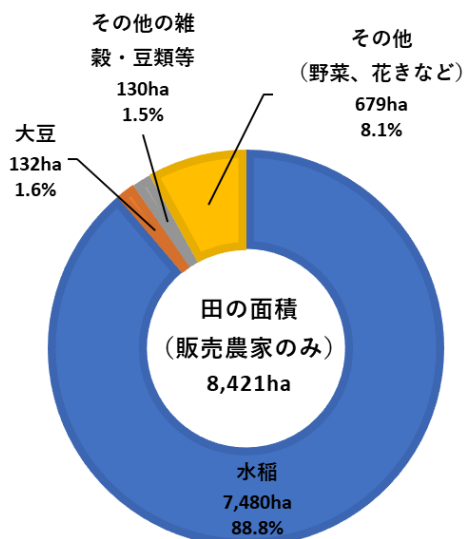
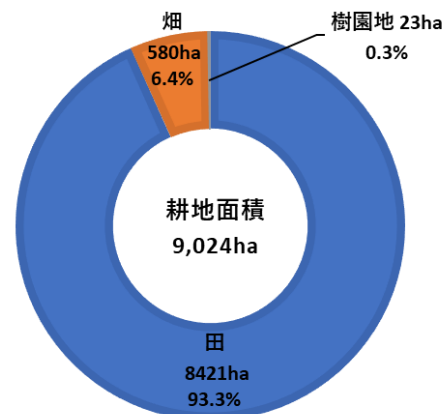
※平成22年及び平成27年は、販売農家（経営耕地面積が30 a 以上、または農産物販売金額が50万円以上の農家）の値。 資料：2020年農林業センサス

●主な農畜産物収穫量及び頭羽数



資料：令和5・6年新潟農林水産統計年報及び家畜生産実態調査（令和6年2月1日現在）

●経営耕地の面積内訳



※販売農家とは、経営耕地面積が30 a 以上、または農産物販売金額が50万円以上の農家を表す。 資料：2020年農林業センサス。

■保健・福祉

●死因別死亡者数

	令和5年			令和4年		
	死因	死亡数(人)	割合(%)	死因	死亡数(人)	割合(%)
1位	悪性新生物	347	23.1	悪性新生物	389	27.3
2位	老衰	199	13.2	心疾患	194	13.6
3位	心疾患	189	12.6	老衰	168	11.8
4位	脳血管疾患	118	7.8	脳血管疾患	99	7.0
5位	アルツハイマー病	79	5.3	アルツハイマー病	70	4.9
他	その他	572	38.0	その他	503	35.4
計		1,504	100.0		1,423	100.0

※心疾患は高血圧性を除く。

資料：福祉保健年報（県）

●各種健(検)診受診状況

	健(検)診 区分	結核検診	肺がん 検診	胃がん 検診	子宮頸がん 検診	乳がん 検診	大腸がん 検診	健康診査
令和 6年	対象(人)	30,811	60,665	60,698	19,932	16,037	60,747	31,783
	受診者(人)	9,956	12,120	4,732	2,690	2,899	10,408	10,177
	受診率(%)	32.3	20.0	7.8	13.5	18.1	17.1	32.0
令和 5年	対象(人)	30,936	61,099	61,140	20,140	16,165	61,180	31,215
	受診者(人)	9,749	11,982	5,008	2,829	2,885	10,602	9,831
	受診率(%)	31.5	19.6	8.2	14.0	17.8	17.3	31.5

資料：保健衛生の動向（市）等

●年齢別う歯り患状況

		幼児		幼稚園・ 保育園児	小学生	中学生
		1歳6か月	3歳	5歳	6年	3年
令和 6年	う歯り患率(%)	0.4	2.5	13.4	4.9	9.7
	一人平均う歯数(本)	0.00	0.07	0.44	0.08	0.21
令和 5年	う歯り患率(%)	0.2	3.1	18.2	6.5	13.1
	一人平均う歯数(本)	0.01	0.07	0.51	0.10	0.28

資料：むし歯の現状（市）

●医療機関設置状況

	病院・医院数
病院	5
診療所	77
(小計)	82
歯科	48
総計	130

資料：令和7年4月1日現在新潟県内の診療所名簿、新潟県病院名簿

●国保特定健診及び人間ドック受診状況（年度年齢別）

		40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	計
令和 6年度	対象(人)	720	858	871	996	1,567	3,825	5,804	14,641
	特定健診受診者（人）	169	179	197	218	423	1,211	2,365	4,762
	人間ドック受診者（人）	65	69	115	108	275	771	1,449	2,852
	受診率(%)	32.5	28.9	35.8	32.7	44.5	51.8	65.7	52.0
令和 5年度	対象(人)	780	875	920	968	1,790	3,994	6,043	15,370
	特定健診受診者（人）	153	191	200	234	420	1,239	2,425	4,862
	人間ドック受診者（人）	68	83	95	110	282	867	1,486	2,991
	受診率(%)	28.4	31.3	32.1	35.5	39.2	52.7	64.7	51.1

※受診率は、各健診を実際に受診した人数から算出した参考値であり、法定報告とは異なる。

■保健・福祉

●65歳以上（第1号被保険者） 要介護（要支援）認定者数

	認定者数(人)
要支援1	927
要支援2	771
要介護1	1,081
要介護2	644
要介護3	620
要介護4	868
要介護5	467
計	5,378

(令和6年度)

●居宅介護（介護予防）サービス 受給者数

	延べ受給者数(人)	1か月の平均受給者数(人)
要支援1	3,893	324
要支援2	5,305	442
要介護1	8,559	713
要介護2	5,063	422
要介護3	3,166	264
要介護4	2,921	243
要介護5	1,127	94
計	30,034	2,502

(令和6年度)

●施設介護サービス受給者数

	延べ受給者数(人)	1か月の平均受給者数(人)
介護老人福祉施設	6,856	571
介護老人保健施設	4,977	415
介護医療院	1,119	93
計	12,952	1,079

(令和6年度)

※65歳以上の人口は30,792人(令和7年3月31日現在)

●国民健康保険状況

	令和6年度	令和5年度
被保険者数 (毎年度末の3月31日現在)	16,419人	17,455人
1人当たり保険税 (医療・支援・介護合計)	99,619円	100,332円
1人当たり受診件数	17件	20件
1人当たり医療費 (費用額)	368,464円	431,913円

■教育

●学校の状況

学校の種類	園・学校数	園児・児童・生徒数(人)	学級数	1学級あたりの児童・生徒数(人)	教員数(人)	教員1人あたりの児童・生徒数(人)
幼稚園	1	10	2	—	4	—
幼保連携型 認定こども園	12	1,376	55	—	268	—
小学校	13	4,336(0)	241	25	333	15
中学校	10	2,367(12)	110	28	215	12
高等学校(全日制)	5	3,321	—	—	247	—
高等学校(定時制)	1	157	—	—		
高等学校(併置校)	—	—	—	—		

※児童・生徒数の（ ）内の数値は、東日本大震災による避難者数。児童・生徒数は避難者数を含む。

※小・中学校の教員数は令和7年5月1日現在の学校現場の教員の実数とした（校長、教頭、主幹教諭、教諭、助教諭、講師、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、栄養職員の人数とし、産休、育休、休職、派遣・長期研修、組合専従者は含まない）。

※児童・生徒数及び学級数には特別支援学級の数値を含み、1学級あたりの児童・生徒数及び教員1人あたりの児童・生徒数には特別支援学級の数値は含まない。

※幼稚園、幼保連携型認定こども園及び高等学校の学校数、園児・生徒数、学級数、教員数は、令和6年度学校基本調査の数値である。

※併置校とは、全日制と定時制の両方の課程を設置している学校。

■都市整備

●市道幅員別・路面種類別実延長、舗装率（単位：m）

区分 \ 幅員	1.5m未満	1.5～ 2.5m未満	2.5～ 4.5m未満	4.5～ 6.5m未満	6.5m以上	合 計	構成率(%)
セメント系	55.7	6,533.9	81,388.2	24,322.0	3,767.1	115,779.2	10.07%
高級アスファルト系	—	—	381.9	5,384.9	38,138.1	43,897.9	3.82%
簡易アスファルト系	160.8	3,260.2	151,328.3	484,740.6	243,630.2	884,921.7	76.97%
未 舗 装	1,105.8	9,935.5	52,046.1	30,550.8	2,680.7	96,281.2	8.37%
橋 梁	10.1	117.0	3,133.6	3,073.3	2,442.0	8,775.5	0.76%
計	1,322.3	19,729.6	285,144.5	544,998.3	288,216.1	1,149,655.5	100.00%
舗 装 率 (%)	16.37%	49.64%	81.75%	94.39%	99.51%	91.66%	

（令和7年3月31日現在）

●市道幹線別整備状況

路面 \ 道路種別	1 級	2 級	その他の路線	小 計	独立専用自歩道	合 計
実 延 長 (m)	150,897.3	130,842.1	849,516.9	1,131,256.3	18,399.2	1,149,655.5
路 線 数	72	113	2,893	3,078	52	3,130
舗 装 済 (m)	150,897.3	130,722.1	753,342.3	1,034,961.7	18,335.4	1,053,297.1
舗 装 率 (%)	100.00%	99.91%	88.68%	91.49%	99.65%	91.62%

（令和7年3月31日現在）

●令和6年度道路除雪状況

	市 道	消雪除雪	総 計
延長(km)	772.8	110.8	883.6
路線数	2,672	388	3,060

（令和7年3月31日現在）

●令和6年度歩道除雪状況

	市 道	県歩道 除雪委託 路線	総 計
延長(km)	97.6	13.9	111.5
路線数	180	15	195

（令和7年3月31日現在）

除雪車総数	305台
委託	131台
リース	137台
市有車	37台

（令和7年3月31日現在）

●下水道接続率

		処理人口 ① (人)	接続人口② (人)	接続率 (②／①×100) (%)
下水道	公共下水道	66,046	43,652	66.1
	農業集落排水	4,644	4,074	87.7
合 計		70,690	47,726	67.5

（令和7年3月31日現在）

●下水道普及率

普及率	81.8% (①／③×100)
-----	-----------------

（令和7年3月31日現在）

※人口ベース、合併浄化槽は除く
 ※普及率...下水道計画区域内の人口と農業集落排水区域内人口（86,445人③）における処理人口①合計 の割合

※人口ベース、合併浄化槽は除く
 ※処理人口...下水道を利用できる区域内の人口
 ※接続人口...処理人口のうち、実際に下水道に接続し下水道を利用している人口
 ※接続率...処理人口における接続人口の割合

■財政

●令和7年度一般会計予算・令和5年度一般会計決算

歳入	令和7年度一般会計予算		令和5年度一般会計決算	
	予算額(千円)	構成比(%)	決算額(千円)	構成比(%)
市税	12,299,172	26.3	11,761,935	23.6
地方譲与税	417,300	0.9	419,254	0.8
利子割交付金	3,200	0.0	2,638	0.0
配当割交付金	61,500	0.1	60,619	0.1
株式等譲渡所得割交付金	51,000	0.1	65,260	0.1
法人事業税交付金	208,900	0.5	208,875	0.4
地方消費税交付金	2,425,400	5.2	2,386,925	4.8
ゴルフ場利用税交付金	66,000	0.1	64,389	0.1
環境性能割交付金	42,900	0.1	32,783	0.1
国有提供施設等所在市町村助成交付金	6,500	0.0	6,596	0.0
地方特例交付金	101,400	0.2	115,055	0.2
地方交付税	12,750,000	27.3	12,807,365	25.7
交通安全対策特別交付金	9,479	0.0	10,777	0.0
電源立地促進対策交付金	6,253	0.0	6,309	0.0
石油貯蔵施設立地対策交付金	7,174	0.0	7,174	0.0
分担金及び負担金	68,780	0.1	88,683	0.2
使用料及び手数料	680,991	1.5	582,661	1.2
国庫支出金	6,900,702	14.8	7,887,430	15.8
県支出金	3,741,912	8.0	3,663,527	7.4
財産収入	52,782	0.1	59,594	0.1
寄附金	1,102,000	2.4	582,390	1.2
繰入金	1,014,786	2.2	2,820,123	5.6
繰越金	300,000	0.7	2,273,463	4.6
諸収入	1,226,165	2.6	1,172,187	2.3
市債	3,155,704	6.8	2,820,449	5.7
自動車取得税交付金	-	-	3,681	0.0
歳入合計	46,700,000	100.0	49,910,142	100.0

歳出 目的別	令和7年度 一般会計予算		令和5年度 一般会計決算	
	予算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)
議会費	269,142	0.6	270,309	0.6
総務費	5,360,769	11.5	7,196,110	14.8
民生費	15,974,770	34.2	14,873,176	30.7
衛生費	3,062,222	6.6	3,276,764	6.8
労働費	41,760	0.1	55,330	0.1
農林水産業費	1,910,726	4.1	2,477,913	5.1
商工費	1,087,984	2.3	1,583,943	3.3
土木費	6,351,604	13.6	5,602,756	11.5
消防費	1,715,857	3.7	1,372,870	2.8
教育費	6,283,722	13.4	6,848,563	14.1
公債費	4,591,444	9.8	4,861,561	10.0
予備費	50,000	0.1	0	0.0
災害復旧費	0	0.0	77,095	0.2
歳出合計	46,700,000	100.0	48,496,390	100.0

歳出 性質別	令和7年度 一般会計予算		令和5年度 一般会計決算	
	予算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)
人件費	7,671,701	16.4	6,977,309	14.4
物件費	6,911,807	14.8	5,767,957	11.9
維持補修費	879,913	1.9	1,117,267	2.3
扶助費	10,375,262	22.2	10,409,146	21.4
補助費等	7,700,606	16.5	8,493,401	17.5
普通建設事業費	4,375,835	9.4	4,081,379	8.4
災害復旧事業費	0	0.0	77,095	0.2
公債費	4,607,444	9.9	4,877,561	10.1
積立金	27,177	0.1	2,690,243	5.5
出資金貸付金	349,502	0.7	380,888	0.8
繰出金	3,750,753	8.0	3,624,144	7.5
予備費	50,000	0.1	0	0.0
歳出合計	46,700,000	100.0	48,496,390	100.0

●令和7年度会計別予算

会計区分			年度	令和7年度 予算額(千円)	令和6年度 予算額(千円)
一 般 会 計				46,700,000	46,380,000
特 別 会 計	土地取得事業			468	10
	国民健康保険事業			9,102,000	9,190,000
	介護保険事業			9,807,000	9,703,000
	後期高齢者医療			1,413,000	1,394,000
	食品工業団地造成事業			67,878	101,580
	コミュニティバス事業			234,400	202,000
	藤塚浜財産区			13,421	10,464
	計			20,638,167	20,601,054
下水道事業会計		収益的	収入	(3,712,721)	(3,741,423)
			支出	3,612,226	3,600,121
		資本的	収入	(5,535,153)	(5,060,066)
			支出	5,976,946	5,437,391
水道事業会計		収益的	収入	(2,292,847)	(2,315,327)
			支出	2,111,895	2,162,407
		資本的	収入	(650,416)	(740,030)
			支出	1,742,452	1,628,494
合 計				80,781,686	79,809,467

●令和5年度会計別決算

会計区分		歳入(千円)	歳出(千円)
一 般 会 計		49,910,142	48,496,390
特 別 会 計	土地取得事業	42,128	41,593
	国民健康保険事業	9,282,523	9,179,121
	介護保険事業	10,366,054	10,067,751
	後期高齢者医療	1,191,680	1,166,850
	食品工業団地造成事業	126,083	126,083
	コミュニティバス事業	193,607	193,607
	藤塚浜財産区	8,764	7,996
	計	21,210,839	20,783,001
区 分		収入(千円)	支出(千円)
下水道事業会計	収益的	3,575,567	3,470,586
	資本的	4,118,980	4,708,339
水道事業会計	収益的	2,143,048	1,984,330
	資本的	456,259	1,177,094
合 計		10,293,854	11,340,349

※下水道事業会計・水道事業会計の収益的収入及び支出は、消費税及び地方消費税を含まない額。資本的収入及び支出は、消費税及び地方消費税を含む額。

※令和5年度会計別決算のうち、下水道事業会計の 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額589,359千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額98,065千円、過年度分損益勘定留保資金59,240千円、当年度分損益勘定留保資金432,054千円で補填した。

※令和5年度会計別決算のうち、水道事業会計の 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額720,835千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額41,299千円、過年度分損益勘定留保資金16,575千円、当年度分損益勘定留保資金562,961千円、減債積立金50,000千円、建設改良積立金50,000千円で補填した。

■公園

●都市公園

名 称	既開設 面積(ha)	種 別	名 称	既開設 面積(ha)	種 別
東公園	0.40	街	五菱公園	0.30	街
御幸公園	0.12	〃	あやめ公園	0.26	〃
住吉公園	0.10	〃	新栄町おくやま公園	0.23	〃
舟入公園	0.16	〃	新栄町とみつか公園	0.26	〃
東新公園	0.10	〃	豊町1号公園	0.21	〃
中曽根公園	0.26	〃	豊町2号公園	0.32	〃
西園公園	0.10	〃	豊町4号公園	0.26	〃
東塚ノ目公園	0.14	〃	豊町5号公園	0.21	〃
新富公園	0.20	〃	豊町6号公園	0.13	〃
ふるまち公園	0.10	〃	五十公野児童公園	0.43	〃
とよだ公園	0.22	〃	東新さくら公園	0.12	〃
こうぬま公園	0.16	〃	新栄町やづめ公園	0.46	〃
すわのき公園	0.10	〃	弓越公園	0.16	〃
もとみ公園	0.12	〃	萱中公園	0.15	〃
かたた公園	0.20	〃	黒松公園	0.26	〃
みずのて公園	0.20	〃	リリオやすらぎ公園	0.68	〃
いしぼとけ公園	0.10	〃	御幸なかよし公園	0.15	〃
みちした公園	0.16	〃	外ヶ輪公園	1.85	近
どのぐち公園	0.12	〃	南公園	1.40	〃
ひのつめ公園	0.12	〃	西公園	1.24	〃
みょうじゅん公園	0.14	〃	新発田駅前公園	1.30	〃
てんのはら公園	0.10	〃	瑤玖良公園	1.19	〃
まつのき1号公園	0.19	〃	新発田城址公園	3.63	地
まつのき2号公園	0.11	〃	真木山中央公園	6.20	〃
すわのき2号公園	0.11	〃	清潟公園	9.29	〃
みやうら公園	0.19	〃	アイネスしばた	2.69	〃
やなぎだ公園	0.16	〃	五十公野公園	89.30	総
つかのめ公園	0.23	〃	新発田中央公園	11.40	〃
とみつか公園	0.17	〃	奉先堂公園	0.90	歴
すみよし2号公園	0.14	〃			
すぎわら公園	0.08	〃			
葉塚山公園	0.48	〃			
太平潟公園	0.13	〃	62か所	140.39	

※供用開始しているもののみ。

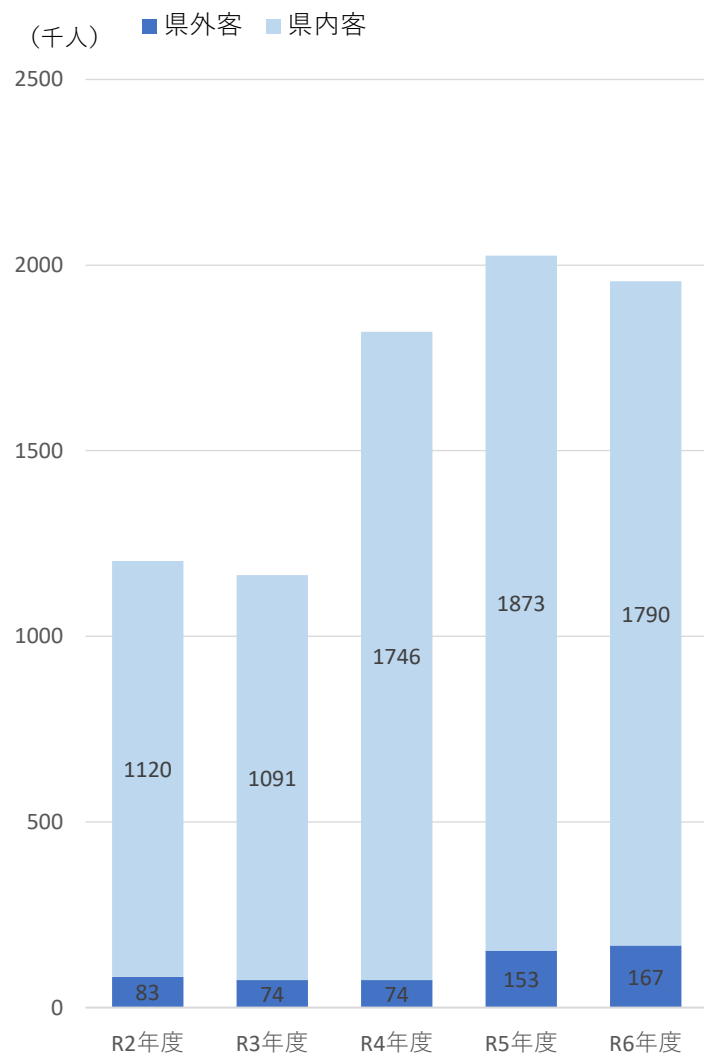
種別 街：街区公園 近：近隣公園 地：地区公園
総：総合公園 歴：歴史公園

●その他の公園

名 称	既開設面積(ha)
内の倉ダム湖畔公園	24.79
加治川治水ダム公園	1.10
滝谷森林公園	9.80
月岡カリオンパーク	12.40
大天城公園	6.80
県立紫雲寺記念公園	82.42
加治川治水記念公園	0.96
桜公園	5.31

■観光

●観光客入込数の推移



●令和6年度目的別入込数

観光客 目的	県内客 (千人)	県外客 (千人)	計 (千人)	前年計 (千人)	前年度比 (%)
温泉	483	134	617	612	100.8
自然環境	101	0	101	109	92.6
名所・旧跡	54	33	87	87	100.0
文化施設	235	0	235	266	88.3
産業観光	105	0	105	123	85.4
まつりイベント	203	0	203	188	108.0
スキー	53	0	53	46	115.2
キャンプ・登山・ハイキング	28	0	28	30	93.3
その他	528	0	528	566	93.3
計	1,790	167	1,957	2,027	96.5

●主な年中行事（令和6年度実績）

春 Spring

- ・新発田城址公園桜まつり（3月27日～4月14日）
- ・二王子岳山開き（5月19日）
- ・荒川剣龍峡山開き（5月26日）

夏 Summer

- ・藤塚浜海水浴場海開き（7月13日）
- ・しばたあやめまつり（6月12日～23日）
- ・サマーフェスティバル（7月27日）
- ・花市（8月11日）
- ・城下町新発田まつり（8月17日～29日）

秋 Autumn

- ・新発田豊年秋まつり（9月23日～24日）
- ・花嫁人形合唱コンクール（10月13日）
- ・新発田まちなかハロウィンパーク（10月26日～27日）
- ・全国うまいもん横丁（11月2日～5日）

冬 Winter

- ・義士祭（12月14日）
- ・城下町しばた全国雑煮合戦（1月12日）
- ・赤谷どんつきまつり（2月15日）



●市の特産品

和菓子

新発田では数々の銘菓が作られています。特に茶道が盛んであったことから、和菓子作りが広まりました。



酒

米どころ新潟の広い平野と、飯豊山系から流れる清らかで豊かな水がある新発田には、4つの地酒の蔵元があります。越後杜氏の技で醸し出された酒には、新発田の風土が香ります。

民芸品

新発田まつりにゆかりの深い金魚台輪や、藍染などのさまざまな品が作られています。



●新発田ブランド認証制度

新発田ならではの魅力あふれる商品を、地域のブランド商品として認定し、「優れた特徴」「こだわり」などを伝え、選ばれる地域として新発田市そのものをブランド化し、地域を活性化する取組です。認証商品を通して、新発田の知名度とイメージアップ、流通の拡大を図ります。



認証商品名	企業名	認証年度	認証商品名	企業名	認証年度	
新発田麩	(有)宮村製麩所	平成 25年度	ごま饅頭	(有)和泉屋	平成 26年度	
おしぶ			くるみがんじき			
麩まんじゅう			杣つき餅	江戸屋餅菓子舗		
いちじくもち	御菓子司 金子屋老舗		新発田産ル・レクチュ大福	(有)新柳本店	平成 28年度	
ダッタンそばジェラート 花の口どけ	山岳手打ちそば 一寿					新発田商業高校コラボスイーツ ポテりん
笹だんご	高田屋					しばた産甘納豆くろまめ
無花果かん	山川菓子舗		カニまるっと甲羅詰め	スーパーいまがわ 紫雲寺店		
笹だんご			さけ安兵衛漬	(有)佐々木食品		
清水園まんじゅう	(有)新柳本店		いか安兵衛漬			
いちじく饅頭	菓匠庵 寿堂	平成 26年度	焼きいか安兵衛漬			
のしいちじく			餅屋が作った笹だんご	(有)和泉屋		
安兵衛大福	(株)宮野食品工業所		ほんのり	菓匠庵 寿堂		
くるみゆべし	山川菓子舗		いちぢく羊羹	御菓子司 金子屋老舗		
新発田ときわのいなり	toe. 登 (株) 鮎 登喜和					

■保存樹木

指定年月日	本数	指定概要
昭和51年10月 9 日	9 本	指定番号1～15号 (松2、杉1、カシ1、ハウノ木1、イチョウ1、桜1、ケヤキ1、モミジ1)
昭和55年 5 月30 日	7 本	指定番号17、18、20号 (ヒサカキ1、モミ1、杉3、ブナ1、桜1)
昭和58年12 月 6 日	16 本	指定番号21～24号 (イチョウ1、杉15)
昭和60年11 月 1 日	1 本	指定番号26号 (シナ1)
平成19年 4 月 1 日	6 本	指定番号31号 (杉5、松1)
令和 5 年 1 月25 日	1 本	指定番号32号 (ヤマモミジ1)
計	40 本	松3、杉24、イチョウ2、桜2、カシ・ハウノ木・ブナ・ケヤキ・モミジ・シナ・ヒサカキ・モミ・ヤマモミジ各1



■指定文化財一覧

(令和7年7月1日現在)

指定区分	種別	名称	所有者(管理者)	備考
国指定	重要文化財・建造物	新発田城表門、旧二の丸隅櫓2棟(附 表門板札、隅櫓棟札)	文部科学省(新発田市)	江戸中期
		旧新発田藩足軽長屋1棟	(一財)北方文化博物館	天保13年(1842年)
	重要文化財・美術工芸品	新潟県村尻遺跡出土品 一括	新発田市	弥生時代 新潟県立歴史博物館(長岡市)に寄託
	記念物・史跡	奥山荘城館遺跡金山城跡4遺跡	新発田市、個人、国、新潟県	鎌倉期～室町期
	記念物・名勝	旧新発田藩下屋敷(清水谷御殿)庭園および五十公野御茶屋庭園	(一財)北方文化博物館、新発田市、豊田神社	下屋敷は寛文6年(1666年)、庭園は文化11年(1814年)
	天然記念物	椋平サクラ樹林1000本以上	国(農林水産省)	
		ヤマネ、ヒシクイ、マガシ		
	特別天然記念物	カモシカ		
県指定	有形文化財・建造物	市島家住宅12棟1構	新発田市	江戸末期～明治期
	有形文化財・彫刻	木造薬師如来立像1軀	龍蔵寺	鎌倉前期
		木造地藏菩薩立像1軀(附 地藏尊縁起1巻)	宝光寺	鎌倉期
	有形文化財・古文書	市島家文書16,528点	新発田市	近世
		正保越後国絵図(元禄年間写)1鋪(附 古絵図3鋪)	市歴史図書館	江戸中期
		新発田藩資料5,848点	市歴史図書館	江戸期
	有形文化財・考古資料	大沢経塚出土品一括	大沢地区ほか(市教育委員会)	平安後期
		鉦鼓1口	個人	鎌倉後期(正和元年(1312年))
		山草荷遺跡出土品45点	市教育委員会	弥生中期
	有形文化財・歴史資料	旧新発田町上水道敷設関係資料一括48点	新発田市	近現代(明治末期～昭和中期)
市指定	無形民俗文化財・風俗習慣	ショウキ祭り(浦の正貴祭り)	力行講社講中	明治後期
	天然記念物	貝屋のお葉附イチョウ樹	個人	
	有形文化財・建造物	宝光寺山門1棟(附 棟札、山門絵図)	宝光寺	弘化2年(1845年)
		旧新発田藩石黒家住宅1棟	(一財)北方文化博物館	江戸後期
		紫雲閣(旧白勢家観音堂)1棟	個人	明治35年(1902年)
		宝光寺経蔵1棟	宝光寺	江戸期
		菅谷寺本堂及び山門 本堂1棟、山門1棟(附 本堂棟札、山門棟札、山門版木)	菅谷寺	江戸期
		間藤家住宅 主屋及び土蔵並びに門小屋(附 主屋棟札、土蔵棟札)	個人	江戸末期、明治期
	有形文化財・絵画	新発田藩歴代藩主肖像画13幅	宝光寺、託明寺	江戸期
		陣立図屏風1双	市歴史図書館	江戸期
	有形文化財・彫刻	木造阿弥陀如来立像1軀	宝光寺	鎌倉期
		木造十一面観音坐像1軀	若宮八幡宮	鎌倉期
	有形文化財・工芸品	銅製孔雀文磬1面	法音寺	鎌倉期
		諏訪大神の神輿、溝口大祖神神輿	諏訪神社	江戸期、明治期
	有形文化財・古文書	聿修碑1基	新発田市	宝永7年(1710年)
		竹前家文書	個人	江戸中期
		神田家文書	個人	江戸中期～後期
		宮川家文書	個人	
		伊藤家文書	個人	江戸期
		世臣譜及び続世臣譜28点	市歴史図書館	江戸後期
	有形文化財・考古資料	板山中野遺跡出土品5個	市教育委員会	縄文後期
		蔵光十二林遺跡出土品3個	個人	縄文後期
		法音寺大日堂五輪塔1基	法音寺	鎌倉末期
		蛭取橋遺跡出土古墳時代木製品7点	市教育委員会	古墳後期
		宝積寺館跡出土墨書板碑1点	市教育委員会	室町期～戦国期(16世紀中ころ)
	有形文化財・歴史資料	菅谷寺算額1面	菅谷寺	享和元年(1801年)
		白勢校校遺品5点	個人	江戸後期
		新発田藩学資料3,258点	市歴史図書館、豊田神社	江戸期
		丹羽伯弘資料214点	市歴史図書館	江戸後期

■市内施設

●市の主要行政施設①（広域行政含む）

施設名	所在地	課名等	問合せ先等	
ヨリネス しばた	中央町 3-3-3		(代)22-3030 FAX 22-3110	
豊浦庁舎	乙次281-2	豊浦支所	22-6776 22-6777	FAX 22-4256
		教育総務課	22-9531 22-9535	FAX 26-3755
		学校教育課	22-9532	
		教育センター	22-9533	
		文化行政課	22-9534	
健康プラザ しうんじ	真野原外 3331-5	紫雲寺支所	41-3112 FAX 41-3452	
加治川庁舎	住田510	加治川支所	33-3102 33-3103	FAX 33-3930
		農林水産課	33-3108	
		農業委員会事務局	33-3119	
地域整備庁 舎	中央町 5-2-13	地域整備課	26-3556 FAX 26-3559	
		維持管理課	28-7099	
		建築課	26-3557	
		財産管理課	26-3774	

施設名	所在地	課名等	問合せ先等	
市役所別館	中央町 4-8-11	選挙管理委員会 事務局(選挙時)	(代)22-3030 FAX 26-8577	
		監査委員事務局・公平委員会・固定資産評価審査委員会	28-9810	
健康長寿 アクティブ交流 センター	中央町 3-13-3	健康長寿 アクティブ交 流センター	26-3030 22-1254(施設予約) FAX 22-1264	
水道局庁舎	下内竹 747	下水道課	23-7284 23-7178 23-7179	FAX 26-3711 (代)20-0141
		水道局業務課		
		水道局浄水課		
イクネス しばた	民間 棟 行政 棟	諏訪町 1-2-11	観光振興課	28-9960 FAX 26-8585
		諏訪町 1-2-12	新発田駅前複 合施設	28-9950 FAX 28-9951
			中央図書館	22-2418

●市の主要行政施設②

施設名	所在地	問合せ先等
有機の里交流センター	米倉2306-1	28-5017
隣保館	住吉町2-3-28	26-5984 FAX 26-5984
住吉コミュニティセンター	住吉町5-4-25	26-7060
五十公野コミュニティセン ター	五十公野 4930-1	26-8139 (旧ふるさと会館)
佐々木コミュニティ センター	則清956-1	27-6627
御幸町ふれあいコミュ ニティセンター	御幸町3-11-9	26-5276
東豊コミュニティ防災セン ター	豊町4-8-30	22-8586
猿橋コミュニティセンター	住吉町1-7-17	20-5361
菅谷コミュニティセンター	菅谷3350	29-2002
加治川コミュニティセン ター	下小中山1107	33-2130
七葉コミュニティセンター	三日市862	24-0778
川東コミュニティセンター	下羽津1908	25-2025
松浦農村環境改善センター	法正橋676	26-3392
市民相談センター・ 消費生活センター	中央町3-3-3	28-9110

施設名	所在地	問合せ先等
米倉農村環境改善センター	米倉1419	28-5204
農村婦人の家	滝谷5780-1	28-2642
新発田市農業サポート センター	下羽津1908	25-2002(川東コ ミュニティセン ター内)
米倉有機資源センター	米倉5181	28-5121
板山有機資源センター	板山3138-2	25-3459
加治川有機資源センター	金塚2527	33-3063
七葉共同調理場	上館84-2	20-8188
五十公野共同調理場	五十公野5170-4	24-7560
北共同調理場	中田町3-1419	22-1297
紫雲寺共同調理場	真野原外3499	41-2514
西共同調理場	佐々木2452-22	27-2365
新発田地域広域事務組合	中央町5-4-7	(代)26-1501
新発田地域広域消防本部	新栄町1-8-31	22-1119
新発田消防署		22-3701
広域交流施設 「虹の里交流館」	藤掛639-1	26-1501(新発田 地域広域事務組合)
維持管理事務所	荒町1483	24-9381 FAX 26-2781
キネス天王	天王甲18	28-9650 (商工振興課)

●スポーツ施設

施設名	所在地	問合せ先等
カルチャーセンター	本町4-16-83	23-3050、FAX 23-3179
新発田中央公園テニスコート	〃	カルチャーセンター(23-3050)
新発田中央公園人工芝グラウンド	〃	〃
市民プール	岡田1507	23-6596(開設期間は7月上旬～9月上旬)
弓道場	小舟町2-3-26	カルチャーセンター(23-3050)
五十公野公園陸上競技場(グリーンスタジアムしばた)	五十公野5724	22-5244 FAX 22-5442
五十公野公園野球場	五十公野4636	26-8484または陸上競技場(22-5244)
五十公野公園テニスコート	〃	サン・ビレッジしばた(23-8670)
五十公野公園ゲートボール場	〃	問合せは陸上競技場(22-5244)
サン・スポーツランドしばた	五十公野4685-32	問合せはサン・ビレッジしばた(23-8670)または陸上競技場(22-5244)
サン・ビレッジしばた	五十公野6080	23-8670、FAX 23-8672
中井体育館	小舟町2-3-31	中井保健センター(24-4311)
豊浦体育センター	乙次26-1	豊浦地区公民館(22-2081)
真木山中央公園多目的練習場	乙次22-1	〃

施設名	所在地	問合せ先等
真木山中央公園野球場	乙次41-1	豊浦地区公民館(22-2081)
真木山中央公園ゲートボール場	乙次22-1	〃
豊浦総合運動施設多目的グラウンド	吉浦1650	〃
豊浦総合運動施設テニスコート	〃	〃
豊浦総合運動施設キャンプ場	〃	〃
五十公野レクリエーションセンター	五十公野4967-2	サン・ビレッジしばた(23-8670)
大島体育館	大中島37	紫雲寺地区公民館(41-2291)
五ヶ字運動広場	真野原2846	〃
米子運動公園	米子99	〃
加治川地区体育館	住田547-1	加治川地区公民館(33-2433)
加治川地区屋外運動場	押廻1428	〃
大天城公園野球場	箱岩2041	〃
大天城公園テニスコート	〃	〃
松浦屋内多目的運動場	法正橋39	サン・ビレッジしばた(23-8670)

●福祉・保健・環境施設

施設名	所在地	問合せ先等
児童発達支援センター	住吉町1-7-6	24-1611
ふれあい福祉センター	住吉町1-7-17	20-3055
障がい者基幹相談支援センター	〃	20-3050(ふれあい福祉センター内)
こども発達相談室	〃	26-3359(猿橋コミュニティセンター内)
高齢者生きがいセンター	乙次28-1	健康長寿アクティブ交流センター(26-3030)
新発田市ボランティアセンター	本町4-16-83	23-1000
新発田市社会福祉協議会	〃	23-1000(ボランティアセンター内)
高齢者福祉センター金蘭荘	五十公野4475-3	22-8741
泉地区世代交流センター	吉田280-2	こども課(28-9232)
あやめ地域ふれあいルーム	中央町3-13-3	26-3030(健康長寿アクティブ交流センター内)
第七区地域ふれあいルーム	大栄町3-4-26	24-6649(第七区公会堂内)
島潟地域ふれあいルーム	島潟536-3	24-4169
大槻地域ふれあいルーム	大槻120	28-5004

施設名	所在地	問合せ先等
東豊地域ふれあいルーム	豊町4-8-30	22-8586(東豊コミュニティ防災センター内)
豊浦地域ふれあいルーム	乙次28-1	22-7094(高齢者生きがいセンター内)
加治川地域ふれあいルーム	下小中山1107	33-2130(加治川コミュニティセンター内)
上町地域ふれあいルーム	中央町3-4-4	26-1899
本町地域ふれあいルーム	本町4-11-14	22-5902
加治地域ふれあいルーム	三日市152-2	26-3030(健康長寿アクティブ交流センター)
松岡地域ふれあいルーム	松岡1684-2	26-3030(健康長寿アクティブ交流センター)
新発田中井デイサービスセンター	小舟町2-690	22-4315
新発田南デイサービスセンター	大栄町4-5-12	26-8581
加治川デイサービスセンター	住田501	33-2280

施設名	所在地	問合せ先等
新発田中央地域包括支援センター	中央町3-13-3	26-2400(健康長寿アクティブ交流センター内)
新発田東地域包括支援センター	菅谷3345-1	31-2001(特別養護老人ホームヒルトップくしがた内)
新発田西地域包括支援センター	荒町甲1611-8	28-7447(新発田リハビリテーション病院内)
新発田南地域包括支援センター	諏訪町1-10-38	28-0112(複合型福祉施設コンフィ陽だまり苑内)
新発田北地域包括支援センター	真野原外3331-2	41-4646(特別養護老人ホームしうんじ内)
養護老人ホームあやめ寮	豊町3-10-3	24-1581
(一財)下越総合健康開発センター	本町4-16-83	24-1145
新発田地区救急診療所	本町1-16-14	23-8350
新発田市保健センター	本町4-16-83	22-0874
中井保健センター	小舟町2-3-31	24-4311
豊浦保健センター	乙次26-2	28-9214 (健康推進課)
健康プラザしうんじ	真野原外3331-5	41-3112 FAX 41-3452
こども家庭センター	乙次26-2	28-0415(豊浦地区公民館内)
青少年健全育成センター	緑町2-6-36	26-0897 FAX 26-2727
児童センター	緑町2-6-36	26-0897 FAX 26-2727
児童運動センター「ユウネスしばた」	住吉町1-7-17	20-7392
住吉児童クラブ	住吉町5-4-25	24-5398

●主要教育・文化施設

施設名	所在地	問合せ先等
中央図書館	諏訪町1-2-12	22-2418(新発田駅前複合施設内)、FAX 28-9951
歴史図書館	中央町4-11-27	24-2100、FAX 26-3010
市民文化会館	中央町4-11-7	26-1576、FAX 26-2500
生涯学習センター 新発田地区公民館	中央町5-8-47	26-7191(生涯学習センター) 22-8516(新発田地区公民館) FAX 22-1977
新発田地区公民館 五十公野分館	五十公野4930-1	26-8139(五十公野コミュニティセンター内)
新発田地区公民館 松浦分館	法正橋676	26-3392(松浦農村環境改善センター内)
新発田地区公民館 米倉分館	米倉1419	28-5204(米倉農村環境改善センター内)
新発田地区公民館 赤谷分館	上赤谷2689	28-2341
新発田地区公民館 川東分館	下羽津1908	25-2025(川東コミュニティセンター内)
新発田地区公民館 菅谷分館	菅谷3350	29-2002(菅谷コミュニティセンター内)
新発田地区公民館 加治分館	三日市862	24-0778(七葉コミュニティセンター内)

施設名	所在地	問合せ先等
住吉第2児童クラブ	住吉町5-4-25	22-3860
東豊児童クラブ	東新町4-10-34	22-2376
東豊第2児童クラブ	東新町4-10-34	22-5152
こうめ児童クラブ	緑町2-6-36	24-5783
外ヶ輪児童クラブ	中央町5-8-9	22-3310
五十公野児童クラブ	五十公野4930-1	26-8311
猿橋児童クラブ	中曽根町3-8-29	22-3314
猿橋第2児童クラブ	中曽根町3-8-29	22-5353
御免町児童クラブ	大栄町4-5-6	26-0473
御免町第2児童クラブ	大栄町4-5-33	22-3666
御免町第3児童クラブ	大栄町4-5-17	22-4811
佐々木児童クラブ	則清956-1	27-1939
七葉児童クラブ	黒岩722	29-2241
紫雲寺児童クラブ	稲荷岡2371	41-3114
加治川児童クラブ	上今泉366-1	39-6016
松浦児童クラブ	法正橋676	23-0313
豊浦児童クラブ	大伝465-2	22-2411
川東児童クラブ	下羽津1938	25-3939
中井さくら園	小舟町2-9-13	22-4297
新発田クリーンアップ いなほ	中曽根字中坪1612-3	28-7372
新発田広域クリーンセンター	藤掛625-1	24-6217
新発田広域エコパーク	金津85-1	20-3750
新発田広域不燃物処理場	胎内市中村浜864-27	45-2370
中条地区塵芥焼却場	胎内市富岡7-123	46-3434
広域葬祭センター願文院 (新発田地域広域火葬場)	古楯495	33-2904

施設名	所在地	問合せ先等
新発田地区公民館 佐々木分館	則清956-1	27-6627(佐々木コミュニティセンター内)
豊浦地区公民館	乙次26-2	22-2081、FAX 26-5522
紫雲寺地区公民館	稲荷岡2371	41-2291、FAX 41-4777
加治川地区公民館	住田501	33-2433、FAX 33-3295
加治川地区公民館 中川分館	押廻1447	22-0657、問合せは加治川地区公民館(33-2433)
青少年宿泊施設 「あかたにの家」	上赤谷2173	28-2116、FAX 28-2123
新発田市教育支援センター車野校	大友17-1	25-2082、FAX25-2082
三市北蒲原郡地区 理科教育センター	中央町5-8-47	22-2139、FAX22-2139 (生涯学習センター内)
新発田市視聴覚ライブラリー	中央町5-8-47	生涯学習センター (26-7191)
紫雲寺漁村民俗資料館	藤塚浜3585-110	文化行政課(22-9534、 FAX 26-3755)
加治川展示室	下小中山1107	文化行政課埋蔵文化財係(26-2163)

●主要観光関係施設

施設名	所在地	問合せ先等
新発田城	大手町6	文化行政課(22-9534、FAX 26-3755)
蒔谷虹児記念館	中央町4-11-7	23-1013、FAX 23-1013
清水園・足軽長屋	大栄町7-9-32	22-2659、FAX 22-0171
旧県知事公舎記念館	五十公野4926	観光振興課(28-9960、FAX 26-8585)
五十公野御茶屋	五十公野字熊ノ沢4926	文化行政課(22-9534、FAX 26-3755)
紫雲の郷館	藤塚浜966	41-1126、FAX 41-0678
滝谷森林公園	滝谷1686	28-2713、FAX 28-2713
市島邸	天王1563	32-2555、FAX 32-1188
石泉荘	諏訪町3-11-21	21-1128
刀剣伝承館・天田昭次記念館	月岡温泉827	32-1121、FAX32-1155(月岡カリオンパーク内)

施設名	所在地	問合せ先等
新発田温泉あやめの湯	板敷795-1	26-1173、FAX 26-1173
五十公野森林館	五十公野公園内	22-1903
道の駅 加治川	横岡1147	20-7393
手造りガラス工房びいどろ	月岡1109	32-2707(月岡カリオンパーク内)
新発田市観光情報センター(イクネスしばたMINTO館内)	諏訪町1-2-11	26-6789、FAX26-5031(新発田市観光協会)
月岡温泉宿泊案内所	月岡温泉546-1	32-2975、FAX 32-2314
寺町たまり駅	諏訪町2-3-28	22-1888
月岡温泉足湯「湯足美」	月岡温泉552-22	新発田市観光協会(26-6789)
蔵春閣	諏訪町1-9-20	28-3255

●国の主要施設

施設名	所在地	問合せ先等
新発田税務署	諏訪町1-12-24	(代)22-3161
新潟地方法務局新発田支局	新富町1-1-20	(代)24-7101
新潟地方裁判所新発田支部	中央町4-3-27	(代)24-0121
新発田簡易裁判所	〃	〃
新潟家庭裁判所	〃	〃
新潟地方検察庁新発田支部	中央町4-3-33	(代)22-2565
新発田区検察庁	〃	〃

施設名	所在地	問合せ先等
新発田労働基準監督署	日渡96	(代)27-6680(新発田地方合同庁舎内)
新発田公共職業安定所(ハローワーク新発田)	日渡96	27-6677(新発田地方合同庁舎内)
下越森林管理署	大手町4-4-15	22-4146
陸上自衛隊新発田駐屯地	大手町6-4-16	22-3151
国土交通省新潟国道事務所新発田維持出張所	島潟665	26-0337

●県の主要施設

施設名	所在地	問合せ先等
新発田地域振興局	豊町3-3-2	
企画振興部		22-5112
県税部		22-5106
健康福祉環境部		26-9165
農業振興部		26-9162
農村整備部		22-5105
地域整備部		26-9189
新発田・児童障害者相談センター		26-9131(健康福祉環境部内)
県立新発田病院	本町1-2-8	22-3121

施設名	所在地	問合せ先等
新発田警察署	中央町4-2-4	23-0110
下越教育事務所	中央町3-7-2	27-9153
下越家畜保健衛生所	下飯塚139-3	22-3067
県食肉衛生検査センター	奥山新保430	24-5281
下越動物保護管理センター	〃	24-0207
愛鳥センター紫雲寺さえずりの里	藤塚浜	41-4500
紫雲寺記念公園管理事務所	藤塚浜299	41-3740

●幼稚園・保育園・認定こども園

施設名		所在地	問合せ先等
私立	保育園	ひかり保育園	舟入町2-1-23 23-3541
		大栄保育園	大栄町4-6-22 26-5203
		まごころ保育園 しばた	城北町2-9-3 20-7870
	認定こども園	あやめこども園	大手町3-2-30 22-5828
		認定こども園 わかば幼稚園	豊町2-7-10 22-6816
		あおばこども園	富塚町1-2-20 24-0008
		認定こども園 東幼稚園	舟入町3-4-14 23-5333
		認定こども園 あそびの森 すみよし保育園	住吉町2-8-12 22-2678
		新発田聖母こども園	中央町4-10-18 22-2045
		優の森こども園	住吉町4-18-16 28-3120
		認定こども園 あいこども園	豊町4-11-18 23-0100
		認定こども園 ルンビニ保育園	新富町3-2-3 22-0877
		認定こども園 百華保育園	中央町1-1-10 22-3288
		認定こども園 キッズ陽だまり園	諏訪町1-10-38 24-1166
		三の丸こども園	中央町5-8-19 24-3591
		認定こども園 めばえこども園	豊町4-8-4 24-0003
		認定こども園 パルクids陽だまり園	中央町5-4-2 26-1222

施設名		所在地	問合せ先等
私立	認定こども園	認定こども園 エンジェルkids 陽だまり園	富塚町2-4-13 28-1515
		にしぞのこども園	住吉町1-7-6 22-2571
		認定こども園 たから保育園	則清1516 27-8415
	幼稚園	乳児園はるにれ	新栄町2-2-26 28-7140
		御免町幼稚園	大栄町4-5-17 22-4536
		中井保育園	小舟町2-3-25 23-1236
		天ノ原保育園	下内竹769-1 22-3622
		松浦保育園	荒川542 32-1505
		うすが森保育園	大槻4211-414 28-5281
		川東保育園	下羽津1578-1 25-2067
		菅谷保育園	菅谷144 29-2124
		ななは保育園	三日市857 23-3113
		豊浦保育園	大伝456-1 27-9200
		藤塚浜保育園	藤塚浜4063-3 41-2468
		紫雲寺保育園	真野原外3428 41-2413
		米子保育園	真野原1731-8 41-2464
		大峰保育園	下小中山328 33-2745

●小学校

施設名	所在地	問合せ先等
外ヶ輪小学校	中央町5-8-9	22-2549
猿橋小学校	中曽根町3-8-29	22-2123
御免町小学校	大栄町4-5-33	22-2216
二葉小学校	中田町3-6-1	22-2164
東小学校	五十公野4862	22-3641
川東小学校	下羽津1938	25-2009
七葉小学校	黒岩66	29-3305
佐々木小学校	則清856	27-2011

施設名	所在地	問合せ先等
住吉小学校	住吉町3-6-22	24-1148
東豊小学校	東新町4-10-8	23-5075
豊浦小学校	大伝465-2	22-2034
紫雲寺小学校	稲荷岡2389	41-2022
加治川小学校	上今泉366-1	33-2435

●中学校

施設名	所在地	問合せ先等
本丸中学校	緑町2-7-22	22-2525
第一中学校	御幸町4-5-25	23-1151
猿橋中学校	住吉町1-7-1	23-1175
東中学校	五十公野4981	22-3824
川東中学校	下羽津1566-1	25-2011

施設名	所在地	問合せ先等
七葉中学校	上館乙84-2	22-3524
佐々木中学校	則清102	27-2505
豊浦中学校	乙次50	24-4492
紫雲寺中学校	真野原外3499	41-4000
加治川中学校	川口330	33-2214

●特別支援学校

施設名	所在地	問合せ先等
県立新発田竹俣特別支援学校	下楠川702	31-1500
県立新発田竹俣特別支援学校いじみの分校	五十公野4651-1	24-7328

●高等学校・短期大学校・大学・各種学校

施設名	所在地	問合せ先等
新発田高等学校	豊町3-7-6	22-2008(県立)
西新発田高等学校	西園町3-1-2	22-2009(〃)
新発田農業高等学校	大栄町6-4-23	22-2303(〃)
新発田商業高等学校	板敷521-1	26-1388(〃)
新発田南高等学校	大栄町3-6-6	22-2178(〃)
新発田中央高等学校	曾根570	27-2466(私立)

施設名	所在地	問合せ先等
さくら国際高等学校新潟国際学園新発田キャンパス	新富町1-5-27	050-3593-1247(私立)
新潟職業能力開発短期大学校	新富町1-7-21	23-2168(公立)
敬和学園大学	富塚1270	26-3636(私立)
新発田病院附属看護専門学校	本町1-2-8	22-2214(県立)

●市内その他の施設

施設名	所在地	問合せ先等
新発田郵便局	大手町4-3-20	22-2200
新発田年金事務所	新富町1-1-24	23-2128
新発田商工会議所	中央町4-10-10	22-2757、FAX23-5885
新発田市勤労者福祉サービスセンター	中央町4-10-10	22-8000、FAX22-8080
しばた商工会	乙次475-3	22-3925、FAX23-5491
しばた商工会紫雲寺支所	稲荷岡2371	41-2319、FAX41-2044
しばた商工会加治川支所	住田510	33-3931、FAX33-3932(加治川庁舎内)
新発田地域シルバー人材センター	中央町4-8-11	22-1010(市役所別館内)
新発田地域シルバー人材センター紫雲寺支所	稲荷岡2371	22-1010(新発田地域シルバー人材センター)
新発田地域シルバー人材センター加治川支所	住田510	28-1010(新発田地域シルバー人材センター)
J R 新発田駅	諏訪町1-1-5	—
東北電力(株)新発田営業所	新栄町3-1-34	引越し・アンペア変更は0120-175-266、停電・緊急時は0120-175-366
新発田ガス(株)	豊町1-4-23	22-4181
(株)エフエムしばた	中央町5-8-47	23-8800、FAX23-8810(生涯学習センター内)

施設名	所在地	問合せ先等
J A 北新潟本店	島潟1184-1	26-2600
J A 北新潟営農センター	島潟1449-1	26-7000
J A 北新潟新発田支店	大手町5-2-28	22-2529
J A 北新潟中央支店	島潟1184-1	28-7262
J A 北新潟豊浦支店	下飯塚5-1	22-6116
J A 北新潟紫雲寺支店	真野原外2961-1	41-3121
J A 北新潟加治支店	下中26-2	22-3705
新潟漁業協同組合北蒲原支所	藤塚浜3585-464	41-2068
さくら森林組合	中倉48-2	29-0600、FAX29-0601(旧中倉保育所)
阿賀北建築組合連合会	住田510	33-0305、FAX33-0304(加治川庁舎内)
新潟県農業共済組合下越支所	住田544	33-3901
酪農(こいがた)農業協同組合新発田支所	岡田2023-1	22-6430
新発田土地改良区	小舟町2-3-9	22-5022
五十公野土地改良区	五十公野1584	22-2789
豊浦郷土地改良区	乙次281-2	24-4145(豊浦庁舎内)
川東土地改良区	石喜180	25-2019
加治郷土地改良区	上今泉5-4	22-3205

■名誉市民

氏 名	認定年月
坪川 洵平	昭和27年4月
天田 昭次	平成15年7月

つばかわ かんぺい

■名誉市民 坪川 洵平

明治7年（1874年）に、元新発田藩士の三男として旧新発田町外ヶ輪裏（現在の城北町）に生まれ、新潟商業学校（現在の新潟商業高等学校）を卒業後、「大倉喜八郎氏のような大商人になりたい」といって上京しました。活版所の見習工を始め、さまざまな苦難を経て住友銀行の各支店に勤務した後、その手腕を買われて西成製紙株式会社の再建を成し遂げると、浪速製紙株式会社、外川製作所を創設し、実業家として成功しました。青年時代は、貧しくても努力によって偉業を成し遂げたジョージ・ピーボデーの伝記「貧児立身伝（高橋光威訳）」に感銘を受けて、人生の指針としました。

昭和3年（1928年）には御大典を記念し、郷土への恩に報い、人類の向上に寄与したいと、図書館の建設費用として1万6千円（現在の約2億円に相当）を新発田町に寄附し、昭和4年4月14日に新発田町立図書館が開館しました。

また、図書館を文化の本拠としてより良いまちづくりを進めるため、図書館の敷地内に図書会館（後の公民館）を建設する費用として7万円（現在の約8億7千万円に相当）を新発田町に寄附し、昭和14年4月25日に開館しました。

更には、私財を投げ打って町商工会への奨励金などの援助、昭和10年の新発田大火の見舞い、新発田工芸女学校（現在の新発田中央高等学校）への資金援助、新発田町役場の建設に10万円（現在の約12億5千万円に相当）の無利子融資、生活困窮者や苦学生への援助などを行いました。昭和27年4月には、新発田市で初となる新発田市名誉市民の称号が授与されました。昭和33年11月7日逝去（享年85歳）。告別式は、図書会館において市葬として執り行われました。

市立歴史図書館入口には、坪川氏の思いを刻んだ箴言碑が、館内には胸像が展示されています。



坪川 洵平

あまた あきつぐ

■名誉市民 天田 昭次

●至芸の世界を歩み続けた刀剣作家

昭和2年に旧本田村（豊浦地区）にて出生。小学校卒業とともに、父と同じ作刀の世界へ入ります。そして、鎌倉時代の刀を追求するうちに、材料である鉄から作り出すことを決意。以後、現代刀界で最も権威のある展覧会で、最高賞である「正宗賞」を3度も受賞したほか、数々の名刀を製作してきました。平成9年には、重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されるとともに、豊浦町名誉町民の称号を授与。平成15年に豊浦町と新発田市が合併し、新発田市名誉市民の称号を授与されました。



天田 昭次

●プロフィール

昭和 2年 旧 本田村（豊浦地区）に生まれる
昭和15年 上京し、日本刀鍛錬伝習所に入門
昭和27年 日米講和条約締結を記念した講和記念刀を製作
昭和30年 第1回作刀技術発表会で優秀賞を受賞
昭和34年 現状の作刀に疑問を感じ、自家製鉄の本格的な研究に入る
昭和43年 月岡の地に自宅、鍛刀所、製鉄所を移転
昭和48年 伊勢神宮式年遷宮御神宝太刀を製作奉仕
昭和49年 横綱 北の湖の土俵入り太刀を製作
昭和52年 第13回新作名刀展で正宗賞を受賞
昭和53年 豊浦町無形文化財・新潟県無形文化財に指定
昭和60年 第21回新作名刀展で2度目の正宗賞を受賞
平成 2年 全日本刀匠会理事長に就任
平成 4年 伊勢神宮式年遷宮御神宝太刀を製作奉仕

平成 7年 財団法人日本美術刀剣保存協会理事に就任
平成 8年 新作刀展覧会で3度目の正宗賞を受賞
平成 9年 重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定。
豊浦町名誉町民の称号授与
平成11年 勲四等旭日小綬章を受章
平成15年 豊浦町閉町記念刀を製作。新発田市名誉市民の称号授与
平成16年 新発田城復元完成記念太刀を製作
平成17年 伊勢神宮式年遷宮御神宝太刀を製作奉仕。
新潟県災害復興祈念剣「不動丸」を製作
平成18年 秋篠宮悠仁親王殿下御守刀謹作
平成23年 公益財団法人日本刀文化振興協会理事長就任
平成25年 伊勢神宮式年遷宮御神宝太刀を製作奉仕。
6月26日逝去（満85歳）

■新発田市歌～虹の橋をわたって～ (平成29年制定)

たか たかし／作詞 若草 恵／作曲・編曲 芹 洋子／唄

雨があがった空に 日が射して
七色の虹が ひろがる
ひとは生まれてくるまちをえらべない
まちも住むひとをえらべない
ただどあるんだよ
ひとりひとりの未来が...

ふれあう心 よりそう笑顔
好きです新発田 陽だまりのまち
今日もやさしい 風が吹く

城の石垣 今に語りつぐ
このまちの遠い 記憶を
時は流れるままひとまちなみも
話すことばさえかえてゆく
ただどあるんだよ
守りつづけるものが...

希望のひかり 信じる勇氣
好きです新発田 母がいるまち
今日もやさしい 風が吹く

サクラ吹雪よ 花たちよ
大空高く 舞いあがれ
あの虹の橋をわたって

サクラ吹雪よ 花たちよ
大空高く 舞いあがれ
あの虹の橋をわたって
大空高く 舞いあがれ...
大空高く 舞いあがれ...

♩=94 (Int.)

P.F. E^b C7 Fm7 A^bm

E^b(A^b9) A^b8 E^b mp あめ

A^b E^b B^b D Cm7 Gm7 C9

の あがった そ らに ひ が さ し て な
の い し が き い まに か た り つ ぐ

A^b Gm7 Cm7 F9 B^b7

な い ろ の に じ が ひ ろ が る ひ と
の まち の と お い き お く を

B E^b Gm A^b E^bm7 B^b7

は う ま れ て く る ま ち を え ら べ な い ま ち
は な が れ る ま ま ひ と も ま ち な み も

A^b Gm Fm7 B^b7 B^b7 A^b

も す む ひ と を え ら べ な い だ け
す こ と ば さ え か え て ゆ く

Gm7 C^b7(9) Fm7 A^bm B^b7(13) B^b7

ど あ る ん だ よ ひ と り ひ と り の み ら い
ど あ る ん だ よ ま も り つ づ け る も の

E^b B^bm7 E^b7 A^b B^b7(13) B^b7 A^b

が ー ふ れ あ う の こ ろ け り し ん

Gm7 C9 Fm A^bm E^b

そ う え が お す き で す し ば た

F7 B^b7sus4 B^b7 E^b C+7 Fm7 B^b7(13)

ひ だ ま り の ま ー ち き ょ う も や さ し い か ぜ が ふ
は が い る ま ー ち き ょ う も や さ し い か ぜ が ふ

E^b(A^b9) A^b8 E^b mp し ろ

E^b(A^b9) E^b E^b G A^b G

く ー さ つ ら ふ ぶ き よ ほ

Fm7 B^b7 B^b7 A^b Gm7(9) B^bm6 B^bm A^b

な ー た ち よ お お ぞ ら ー た か く ま

Gm7(9) C^b7(9) Fm A^bm E^b

い ー あ が れ あ の に じ の は し を

F7 B^b7(13) B^b7

た ー つ て さ く

D.S. to E

B^b7 E^b C+7 Fm7 B^b7(13)

て お お ぞ ら ー た か く ま い あ が

E^b E^b C+7

れ お お ぞ ら ー た か く ー ま

Fm7 B^b7 E^b E^b D^b

い あ が れ

A^b C A^bm C^b E^b rit. Ah Ah Ah



■歴代市長

	氏 名	就 任	退 任
初	高橋 平治郎	S22. 4. 5	S26. 4. 4
2	近 勇次	S26. 4. 25	S30. 4. 30
3	原 常一郎	S30. 5. 1	S34. 4. 29
4	〃	S34. 4. 30	S37. 2. 2
5	大沼 鉄男	S37. 3. 2	S41. 12. 2
6	〃	S41. 12. 2	S45. 11. 30
7	富樫 会	S45. 12. 1	S49. 11. 30
8	〃	S49. 12. 1	S53. 11. 30
9	近 寅彦	S53. 12. 1	S57. 11. 30
10	〃	S57. 12. 1	S61. 11. 30
11	〃	S61. 12. 1	H2. 11. 30
12	〃	H2. 12. 1	H6. 11. 30
13	〃	H6. 12. 1	H10. 11. 30
14	片山 吉忠	H10. 12. 1	H14. 11. 30
15	〃	H14. 12. 1	H18. 11. 30
16	〃	H18. 12. 1	H22. 11. 30
17	二階堂 馨	H22. 12. 1	H26. 11. 30
18	〃	H26. 12. 1	H30. 11. 30
19	〃	H30. 12. 1	R4. 11. 30
20	〃	R4. 12. 1	

■歴代助役

	氏 名	就 任	退 任
初	古田島 徳平	S22. 6. 24	S26. 5. 19
2	塚野 俊郎	S26. 6. 4	S28. 6. 29
3	野沢 順吉	S28. 10. 1	S32. 9. 30
3	伊花 才二	S30. 7. 5	S34. 6. 30
4	野沢 順吉	S32. 10. 1	S36. 9. 30
4	長谷川 弘	S35. 10. 1	S39. 9. 30
5	野沢 順吉	S36. 10. 1	S40. 9. 30
6	〃	S40. 10. 1	S44. 9. 30
7	池田 政男	S44. 12. 3	S45. 12. 31
8	五十嵐 喜一郎	S46. 2. 17	S50. 2. 16
9	〃	S50. 2. 17	S54. 2. 16
10	佐藤 留蔵	S54. 3. 24	S58. 3. 23
11	藤倉 庄平	S58. 6. 22	S62. 6. 21
12	〃	S62. 6. 22	H3. 6. 21
13	〃	H3. 6. 22	H7. 6. 21
14	遠藤 謙二	H7. 9. 7	H10. 10. 19
15	清田 幸雄	H10. 12. 8	H14. 12. 7
16	大山 康一	H15. 2. 7	H19. 2. 6
17	〃	H19. 2. 7	H19. 3. 31

■歴代収入役

	氏 名	就 任	退 任
初	佐藤 克太郎	S22. 9. 8	S26. 9. 7
2	原 常一郎	S28. 9. 7	S30. 4. 1
3	二戸 章三	S35. 10. 1	S39. 9. 30
4	〃	S39. 10. 1	S43. 9. 30
5	〃	S43. 10. 1	S47. 9. 30
6	五十嵐 憲三	S47. 10. 1	S51. 9. 30
7	〃	S51. 10. 1	S54. 2. 28
8	菅原 孝一	S54. 9. 13	S58. 9. 12
9	〃	S58. 9. 13	S62. 9. 12
10	長谷川 成之	S62. 9. 13	H3. 9. 12
11	〃	H3. 9. 13	H7. 3. 31
12	池田 毅	H7. 4. 1	H11. 3. 31
13	宮坂 啓象	H11. 7. 1	H15. 6. 30
14	藤田 栄三郎	H15. 7. 1	H17. 6. 30
15	芹野 秀夫	H17. 9. 2	H19. 5. 31

※収入役制度は平成19年3月31日で
廃止されたが、任期中に限り従前
のとおりに在職。

■歴代副市長

	氏 名	就 任	退 任
初	大山 康一	H19. 4. 1	H22. 10. 20
〃	小川 弘	H19. 10. 1	H22. 8. 31
2	大山 康一	H23. 2. 24	H25. 3. 7
3	下妻 勇	H25. 4. 1	H29. 3. 31
4	〃	H29. 4. 1	R3. 3. 31
5	伊藤 純一	R3. 4. 1	R7. 3. 31
6	〃	R7. 4. 1	
7	渡邊 毅	R7. 7. 1	

※助役は、平成19年4月1日から名
称を副市長とした。
※平成19年10月1日から、副市長
の定数を2人とした。
※令和7年7月1日から、副市長を
2人体制とした。

■歴代教育長

	氏 名	就 任	退 任
初	酒井 環	S27. 11. 1	S31. 9. 30
2	肥田野 文治	S31. 10. 4	S34. 6. 29
3	栗林 米造	S34. 6. 30	S41. 3. 31
4	石山 平四郎	S41. 4. 1	S46. 12. 18
5	吉田 久平	S47. 1. 1	S47. 7. 31
6	渡辺 義平	S47. 8. 1	S54. 3. 31
7	高橋 恂三郎	S54. 4. 1	S60. 3. 4
8	本間 不二夫	S60. 4. 1	S62. 3. 31
9	渡辺 秀晃	S62. 4. 1	H6. 3. 31
10	鈴木 明夫	H6. 4. 2	H11. 3. 31
11	臼井 茂夫	H11. 4. 1	H15. 6. 30
12	大滝 昇	H15. 7. 1	H22. 11. 30
13	塚野 純一	H22. 12. 27	H25. 2. 28
14	大山 康一	H25. 3. 8	H27. 3. 31

新教育委員会制度施行後
【平成27年4月改正】

	氏 名	就 任	退 任
初	大山 康一	H27. 4. 1	H30. 3. 31
2	山田 亮一	H30. 4. 1	H30. 10. 17
3	工藤 ひとし	H31. 4. 1	

■歴代議長

	氏 名	就 任	退 任
初	長谷川 納蔵	S22. 5. 18	S23. 9. 13
2	杉山 要平	S23. 9. 13	S26. 4. 29
3	〃	S26. 5. 26	S30. 4. 15
4	柳川 亥吉	S30. 5. 25	S32. 5. 20
5	〃	S32. 5. 21	S34. 4. 15
6	島田 不二男	S34. 5. 18	S36. 5. 26
7	大沼 金蔵	S36. 5. 29	S37. 5. 26
8	島田 不二男	S37. 5. 26	S38. 4. 29
9	〃	S38. 5. 19	S40. 6. 23
10	柳川 亥吉	S40. 6. 23	S42. 4. 30
11	〃	S42. 5. 17	S44. 6. 20
12	佐藤 精一	S44. 6. 20	S46. 4. 30
13	〃	S46. 5. 17	S50. 4. 30
14	〃	S50. 5. 16	S52. 6. 30
15	〃	S52. 6. 30	S54. 4. 30
16	石山 正八	S54. 6. 18	S56. 9. 28
17	佐藤 精一	S56. 9. 28	S58. 4. 30
18	井岡 博男	S58. 5. 30	S62. 4. 30
19	〃	S62. 5. 27	H3. 4. 30
20	二階堂 馨	H3. 5. 21	H7. 4. 30
21	宮崎 光衛	H7. 5. 22	H9. 11. 21
22	小川 弘	H9. 11. 21	H11. 4. 30
23	五十嵐 孝	H11. 5. 21	H13. 12. 3
24	牛腸 栄	H13. 12. 3	H15. 4. 30
25	二階堂 馨	H15. 5. 21	H17. 3. 28
26	小川 弘	H17. 3. 28	H19. 4. 30
27	二階堂 馨	H19. 5. 22	H21. 6. 12
28	〃	H21. 6. 12	H22. 6. 28
29	巖 昭夫	H22. 6. 28	H23. 4. 30
30	宮野 昭平	H23. 5. 24	H25. 6. 11
31	斎藤 明	H25. 6. 11	H26. 1. 27
32	小川 徹	H26. 2. 19	H27. 4. 30
33	〃	H27. 5. 25	H29. 6. 14
34	比企 広正	H29. 6. 14	H31. 4. 30
35	〃	R1. 5. 24	R3. 5. 21
36	若月 学	R3. 5. 21	R5. 4. 30
37	宮崎 光夫	R5. 5. 26	R7. 5. 22
38	湯浅 佐太郎	R7. 5. 22	

■歴代副議長

	氏 名	就 任	退 任
初	杉山 要平	S22. 5. 10	S23. 9. 13
2	田村 泰蔵	S23. 9. 13	S26. 4. 2
3	山ノ井 三郎	S26. 5. 26	S30. 4. 29
4	伊花 才二	S30. 5. 25	S30. 7. 4
5	渋谷 勇太郎	S30. 8. 24	S32. 5. 20
6	宮村 鶴吉	S32. 5. 20	S34. 4. 29
7	武藤 毅	S34. 5. 18	S36. 5. 29
8	水戸部 秀康	S36. 5. 29	S37. 5. 26
9	斎藤 新一郎	S37. 5. 26	S38. 4. 29
10	佐藤 精一	S38. 5. 19	S40. 6. 23
11	〃	S40. 6. 23	S42. 4. 30
12	小川 与之吉	S42. 5. 17	S44. 6. 20
13	斎藤 新一郎	S44. 6. 20	S46. 4. 30
14	長尾 銀作	S46. 5. 17	S47. 6. 27
15	土田 諦道	S47. 6. 27	S50. 4. 30
16	佐藤 鉄蔵	S50. 5. 16	S52. 6. 30
17	速水 克夫	S52. 6. 30	S54. 4. 30
18	湯浅 長夫	S54. 6. 18	S56. 9. 28
19	倉島 和四蔵	S56. 9. 28	S58. 4. 30
20	近藤 久	S58. 5. 30	S62. 4. 30

	氏 名	就 任	退 任
21	中山 喜七郎	S62. 5. 27	H1. 3. 30
22	川崎 長之助	H1. 4. 13	H3. 4. 30
23	村山 義一	H3. 5. 21	H5. 5. 31
24	相沢 佐喜男	H5. 6. 7	H7. 4. 30
25	牛腸 栄	H7. 5. 22	H9. 12. 18
26	巖 昭夫	H9. 12. 18	H11. 4. 30
27	竹内 三男	H11. 5. 21	H14. 2. 22
28	斎藤 正衛	H14. 3. 1	H15. 4. 30
29	本間 道治	H15. 5. 21	H17. 5. 18
30	宮野 昭平	H17. 5. 18	H19. 4. 30
31	渋谷 武衛	H19. 5. 22	H21. 6. 12
32	星野 幸雄	H21. 6. 12	H23. 4. 30
33	斎藤 明	H23. 5. 24	H25. 6. 11
34	青木 泰俊	H25. 6. 11	H27. 4. 30
35	比企 広正	H27. 5. 25	H29. 6. 14
36	佐藤 真澄	H29. 6. 14	H31. 4. 30
37	渡邊 喜夫	R1. 5. 24	R3. 5. 21
38	中村 功	R3. 5. 21	R5. 4. 30
39	小坂 博司	R5. 5. 26	R7. 5. 22
40	石山 洋子	R7. 5. 22	



■新発田市のあゆみ

昭和22年	1月	市制施行	昭和55年	3月	加治、菅谷中学校開校
昭和23年	3月	市消防署開庁	昭和56年	4月	市民文化会館・公民館完成。七葉中学校開校
	4月	五つの新制高校発足		1月	豪雪により人的被害などが発生
昭和24年	5月	市役所職階制による給与体系実施		3月	下中山、菅谷、石川小学校開校
昭和25年	3月	市公民館設立		4月	統合「菅谷小学校」開校
	8月	市内初の保育園開園。市営球場完成		6月	梅雨前線豪雨発生、建物被害など被害総額35億9千万円
昭和26年	2月	国立新発田病院火災発生、第1病棟全焼		8月	日韓スポーツ交流で訪韓団を派遣
昭和27年	4月	坪川洵平氏名誉市民となる	昭和57年	10月	皇太子、同妃両殿下を迎え「市民の幸せを考える集い」開催
	7月	梅雨前線豪雨発生、市内612町歩冠水		4月	二市北蒲原郡総合健康開発センター、市保健センター完成
昭和29年	1月	市消防署に火災専用電話119開設	昭和58年	4月	新発田商工高校が南高校と商業高校に分離。青少年健全育成センターオープン
	4月	「市政だより」第1号発行		10月	厚生省のヘルスパイオニアタウン事業の指定を受ける
昭和30年	9月	市防犯組合結成	昭和59年	11月	市公民館が優良公民館活動で文部大臣賞受賞
	3月	五十公野、松浦、米倉、赤谷、川東、菅谷の6村を合併		1月	豪雪により建物被害などが発生
昭和31年	3月	加治川村の一部を合併。国鉄白新線開通		3月	国鉄赤谷線廃止。中野賞制定
	4月	第一中学校火災発生、一部焼失	昭和60年	4月	タウンホームのぞみ工房、のぞみの家完成
	7月	梅雨前線豪雨発生、市内420町歩冠水		5月	農業研修センター完成。五十公野公園野外活動施設オープン
昭和32年	6月	新発田城表門、隅櫓、国の重要文化財に指定		8月	駅地下道完成
昭和33年	7月	集中豪雨発生	昭和62年	10月	カルチャーセンターオープン。市健康づくり推進協議会が内閣総理大臣賞受賞
	9月	台風21号発生		11月	新発田川放水路着工。新市立図書館オープン。新発田食品工業団地完成
	11月	名誉市民坪川洵平氏逝去（享年85歳）、市葬が営まれる		1月	豪雪発生、人的・建物被害など被害総額6億5千万円
昭和34年	4月	佐々木村を合併。猿橋小学校開校。新発田城解体復元工事始まる	昭和63年	4月	特別養護老人ホーム「二の丸」完成
	5月	図書館開館30周年記念式典開催		3月	荒川小学校、松浦小学校開校
	8月	御免町小学校新校舎完成		4月	統合「松浦小学校」開校
昭和35年	4月	新市域に置かれた支所が廃止され出張所に。加治橋完成		5月	常陸宮、同妃両殿下を迎え、当市で「全国野鳥保護のつどい前夜祭」開催
	9月	台風18号発生	昭和63年	7月	露谷虹児記念館オープン。市の花にアヤメ、市の木にサクラを制定
昭和36年	8月	集中豪雨発生、市内128町歩冠水		4月	東豊小学校開校。東豊児童クラブ開設
	9月	精神薄弱児施設いじみの学園完成、第2室戸台風発生		11月	水道局庁舎完成。市水道事業創設60周年記念式典
昭和37年	4月	市内初の信号機設置。江口（五十公野）で大火、12戸全焼	平成元年	4月	山林火災発生、金山地内から出火し民有林・国有林を22ha焼失
	5月	市立体育館完成		7月	図書館開館60周年記念式典開催。五十公野公園あやめ園が「手作り郷土賞」を受賞。五十公野公園が「日本都市公園100選」に認定。建設省が加治川を桜づつみモデル事業に認定
昭和38年	2月	豪雪による被害総額1億円に	平成 2年	9月	新新バイパス全線開通
昭和39年	3月	本丸中学校火災発生、特別教室焼失		10月	五十公野サン・スポーツランドオープン
	4月	市役所庁舎全焼。国道7号新発田バイパス完成。町名変更		11月	大韓民国議政府市と友好都市協定を締結
	6月	新潟国体で当市も会場に。天皇陛下幸啓。新潟地震発生	平成 3年	2月	村尻遺跡出土品ヒト形土器、壺形土器が県の有形文化財・考古資料に指定
昭和40年	11月	市役所新庁舎完成		3月	五十公野森林館完成
昭和41年	7月	水害発生、人的・建物被害など被害総額54億9千万円		6月	旧県知事公舎記念館オープン
昭和42年	8月	羽越水害発生	昭和44年	11月	しばた台輪が天皇陛下御即位記念日本まつりパレードに参加。韓国議政府市へ第1回職員研修派遣
昭和43年	2月	豪雪発生、市内交通機関などが麻痺		12月	第1回市民表彰
	10月	広域ごみ焼却場、岡田に完成		3月	新発田東デイサービスセンター完成。清水谷庭園が県文化財記念物・名勝に指定
	11月	勤労青少年ホーム完成	昭和46年	4月	敬和学園大学開校。ボランティアセンターオープン
昭和44年	12月	足軽長屋、国の重要文化財に指定		7月	住吉コミュニティセンターオープン
昭和46年	5月	板山放牧場完成		9月	印鑑登録証（カード）による印鑑証明書の発行開始
	6月	集中豪雨発生、建物被害など被害総額7億円	昭和48年	10月	総合健康開発センターが厚生大臣表彰を受賞
	10月	新発田市休日診療所を開設（新発田市役所内）		11月	石川県加賀市と友好都市協定調印。市社会福祉協議会が厚生大臣賞を受賞
	11月	内の倉ダム竣工			
昭和49年	10月	加治川治水ダム竣工			
昭和50年	4月	猿橋児童クラブ開設			
昭和51年	4月	御免町児童クラブ開設			
昭和52年	4月	こうぬま児童クラブ開設			
	7月	市民プール完成			
昭和53年	4月	住吉児童クラブ開設			
	6月	梅雨前線豪雨発生、建物被害など被害総額12億円			

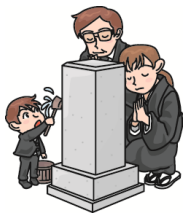
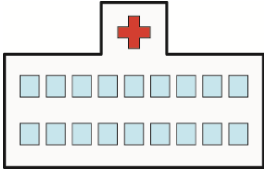
平成 4年	4月	新潟職業能力開発短期大学校開校。五十公野公園野球場オープン。五十公野児童クラブ開設	平成11年	2月	新発田育英会学生寮竣工
	5月	ふるさと会館（現在の五十公野コミュニティセンター）オープン		4月	天ノ原保育園開園。学校給食川東共同調理場オープン。市情報公開条例、市個人情報保護条例施行。市都市マスタープラン完成。佐々木コミュニティセンターオープン。中井デイサービスセンターオープン。佐々木児童クラブ開設
平成 5年	8月	蔭谷虹児記念館が公共建築賞優秀賞受賞		5月	知的障害者授産施設「希望の家」竣工
	1月	高齢者レクリエーションセンターオープン		7月	市下水道事業審議会スタート
	2月	市消防団が日本消防協会から特別表彰「まとい」受賞		8月	旧市営野球場用地と新発田駐屯地営前訓練場用地一部交換。武家屋敷を市の文化財に指定
	4月	訪問看護ステーション、在宅介護支援センターオープン。市立図書館で本の貸出し等に電算機利用開始。県植樹祭が五十公野公園で開催		10月	韓国議政府市との友好都市協定10周年記念事業開催
	6月	滝谷森林公園一部オープン		11月	家庭ごみ収集有料化スタート。しばた台輪が天皇陛下御即位10周年奉祝祝賀パレードに参加
	9月	加治川児童館開設	平成12年	1月	新発田温泉「あやめの湯」入場者50万人達成
	10月	生涯学習センターオープン。廃棄物減量等推進員を設置。厚生省の「健康文化と快適な暮らしのまち創造プラン事業」に指定		2月	県立新発田病院整備促進期成同盟会設立
	12月	勤労者福祉センター（サン・ワークしばた）オープン		3月	「新発田市中心市街地活性化基本計画」策定。御免町幼稚園新園舎完成。新発田川放水路完成。市勤労青少年ホーム閉館
平成 6年	4月	新発田西デイサービスセンターオープン		4月	豊浦保育園開園。新発田南デイサービスセンターオープン。七葉児童クラブ開設
	8月	新発田温泉「あやめの湯」オープン		5月	市行政改革推進本部設置
平成 7年	1月	松浦小学校が全国交通安全優良校として表彰		6月	粗大ごみ戸別収集・白色トレイの店頭回収開始。市自治会連合会設立
	4月	新発田北デイサービスセンターオープン。新潟県北部地震発生、県指定文化財市島邸住宅「湖月閣」倒壊		8月	広島平和記念式典に中学生3人派遣。大相撲新発田場所開催。住吉町花と緑の会が緑化推進運動功労者として内閣総理大臣表彰を受ける
	6月	アメリカ合衆国アイオワ州オレンジシティと姉妹都市協定調印。赤谷サイクリングロードが全国街路事業コンクールで特別賞受賞		9月	市まちづくり総合計画基本構想完成。市防災フェスティバル2000開催
	7月	自転車等放置防止及び自転車等駐車場条例施行		10月	環境美化推進条例施行
	10月	在宅福祉事業功労で厚生大臣表彰を受ける		11月	羽越本線新幹線直通促進新潟地区期成同盟会設立
平成 8年	11月	新発田川放水路暫定通水	平成13年	2月	市長への手紙、市政懇談会開始。市行政改革推進計画策定
	1月	住民参加によるまちづくり部門で自治大臣表彰を受ける		3月	市まちづくり総合計画基本計画・実施計画策定。市農村マスタープラン策定。猿橋小学校新校舎竣工
	2月	韓国議政府市と第1回友好都市市政発展研究会開催		4月	市総合健康福祉センター「いきいき館」オープン。環境基本条例制定。「新潟2001年宇宙の旅」に3台の金魚台輪が参加
	3月	正保越後国絵図、古絵図3点が県有形文化財古文書に指定		6月	旧赤谷線「歴史探勝の道」全線開通。古タイヤ火災発生、真野原外地内から出火し松林47ha、古タイヤ約2万2千本焼失
	7月	滝谷森林公園宿泊棟オープン		7月	市民ギャラリーオープン
	11月	二市北蒲はいかいシルバーSOSネットワーク通信開始		10月	米倉ふれあいロードパーク「ねむの木広場」オープン
	12月	新発田女性会議設立		11月	県営大規模湛水防除事業新発田Ⅰ、Ⅱ期地区県営かんがい排水事業五十公野地区竣工。市環境率先実行計画「エコシフト21」策定。諏訪神社火災発生、本殿及び市指定文化財などが焼失
平成 9年	3月	人権擁護都市宣言	平成14年	4月	うすが森保育園開園。御幸町ふれあいコミュニティセンターオープン。新発田中央公園幼児ゾーンオープン
	4月	菅谷・紫雲寺保育園開園。隣保館オープン		5月	日本海東北自動車道「新潟空港IC～聖籠新発田IC」区間開通
	6月	サン・ビレッジしばたオープン。市制施行50周年記念式典開催。第4回世界・第40回全日本花いっぱい大会開催。第10回全国あやめサミット開催。防災安全都市宣言、核兵器廃絶平和都市宣言		7月	五十公野公園陸上競技場「グリーンスタジアムしばた」竣工
	10月	エフエムしばた開局。坂ノ沢C遺跡から石斧やたて穴住居、石器群発掘		9月	新発田市・豊浦町合併協議会設置
平成 10年	11月	市保健自治会が自治大臣表彰を受ける		10月	高速道路日本海東北自動車道「聖籠新発田IC～中条IC」区間開通。新発田市公共下水道供用開始
	3月	「コモタウン」オープン	平成15年	1月	「新発田駅前・中心市街地活性化地区移動円滑化基本構想」策定
	4月	学校給食北共同調理場オープン。市庁舎時間禁煙実施。新発田広域クリーンセンターオープン。安兵衛の松2世植樹			
	5月	忠臣蔵サミット開催。城下町伝統文化展開催			
	6月	「城下町新発田400年のあゆみ」発刊。市緑・花振興協会が内閣総理大臣表彰を受ける			
	7月	市防災協会設立			
	8月	市水道事業創設70周年記念「水道フェスティバル」開催。8.4水害発生、建物被害など被害総額7億2千万円。野外劇「この豊かな大地の讃歌」公演			
	9月	新発田藩初代藩主ブロンズ像建立			
	10月	全国「花嫁人形」合唱コンクール、全国「花嫁」手紙コンクール開催			
	11月	蔭谷虹児記念館が「公共建築百選」に			

平成16年	2月	県立新発田病院、リウマチセンター、附属看護専門学校の基本設計概要発表。市ファミリーサポートセンター開設	10月	新発田市コミュニティバス運行開始。新発田城址公園が「日本の歴史公園100選」に選ばれる。
	3月	新発田市環境基本計画策定	11月	県立新発田病院が移転開院。「まちの駅よろず新発田学研究センター」オープン。市街地循環バス実証実験運行開始
	4月	精神障害者授産施設「夢工房しば草」オープン。新発田城三階櫓・辰巳櫓上棟式、上棟祭開催。豊町ふれあいコミュニティセンター、猿橋コミュニティセンターオープン	平成19年 1月	第1回健康づくり大学開催。市所蔵アートコレクション展開催
	7月	豊浦町と合併。名球会“あなたのまちに名球会がやってくる”新発田大会開催	3月	「新発田市観光振興基本計画」策定
	8月	清水園庭園・五十公野御茶屋庭園国指定名勝に指定	4月	キッズ陽だまり園開園。「市民参画と協働による新発田市まちづくり基本条例」施行。地域交流センター・紫雲の郷館指定管理者制度導入。幼保一元化施設「西園すこやか園」オープン
	9月	新発田温泉あやめの湯足湯オープン	5月	「新発田市ハザードマップ」作成。養護老人ホーム「あやめ寮」移転オープン
	12月	新発田市・紫雲寺町・加治川村合併協議会設置。新発田駅前土地区画整理事業開始	6月	「新発田あんしんメール」配信サービス開始。緊急告知FMラジオ装置配備開始。紫雲の郷入館者100万人達成
	2月	県立新発田病院移転建築工事着工	7月	新発田市コミュニティバスに有料広告掲載開始。「食のアスバラ横丁めめぐり」実施。中越沖地震発生
	3月	新発田南バイパス開通	8月	市ホームページに有料広告掲載開始。食のまちづくり・しばたリレートーク開催。新発田駅前広場オープン
	4月	川東保育園開園。地域交流センター（きやり館）オープン。新発田城址公園リニューアルオープン。滝谷森林公園対岸デイキャンプ場オープン。紫雲寺児童館開設	10月	市立図書館の運営業務を一部委託。石崎家住宅「石泉荘」が登録有形文化財に認定
	5月	まちづくり出前講座開始	11月	しばたっ子わくわく通学合宿開始
	6月	新発田城三階櫓・辰巳櫓完成記念事業「城下町しばた文化の祭典」開催	12月	市都市マスタープラン改訂
平成17年	7月	新発田城三階櫓・辰巳櫓開場式開催。新発田市菓「あやめ城・三階櫓」販売開始。新発田城三階櫓・辰巳櫓完成記念事業「ページェントしばた2004〜道学共創〜」開催。「しばたっ子台輪」完成・お披露目パレード。7.13新潟・福島豪雨災害発生、道路・農林水産施設被害など被害総額約1,850万円	平成20年 2月	竹ヶ花地区の蚤取橋・神明裏遺跡から丸木梯子・剣形木製品など出土。新発田温泉あやめの湯入館100万人達成
	10月	中越地震発生	3月	「新発田市景観計画」策定。市農村マスタープラン改訂。加治川・中川・新金塚小学校閉校。三の丸・清水谷・南保育園閉園。中倉保育所閉所。新新バイパス新発田IC立体化（上り線）開通
	11月	商工会議所分館「まちの駅」オープン	4月	優の森・三の丸保育園開園。加治川・中川・新金塚小学校が統合し「加治川小学校」が開校。「観光イベントバス」運行開始。市島邸が市直営に移管
	1月	新発田城三階櫓・辰巳櫓完成記念事業「城下町しばた全国雑煮合戦」開催	5月	月岡温泉月姫広場に足湯完成
	3月	杉山義法氏追悼公演「よろけ養安」公演	6月	電子申請システム稼働。公共施設予約システム稼働
	4月	地域交流センター屋内ホール（あおり館）オープン。市立図書館が「こども読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受賞	7月	「新発田市景観計画」施行
	5月	紫雲寺町・加治川村と合併。紫雲寺町よりアメリカ合衆国ミズーリ州セントジェームズ市、長野県須坂市、加治川村より韓国全谷邑との友好都市・姉妹都市協定を継承。紫雲寺・加治川児童クラブ開設	9月	全国瞬時警報システム（J-ALERT）運用開始。市水道事業創設80周年記念イベント開催（ボトルドウォーター「源泉滾々」配布）
	6月	米倉有機資源センター、加治川有機資源センター完成。水害発生、8地区314世帯1,182人に避難勧告	10月	「復活 新発田 十二斎市」開催
	7月	板山有機資源センター完成	平成21年 1月	「新発田市食の循環によるまちづくり条例」施行
	10月	「景観行政団体」に認定	3月	「新発田市地域公共交通総合連携計画」策定。「新発田市水道ビジョン」策定
	12月	新潟大停電発生、下越地方を中心に65万戸が停電	4月	「新発田市議会基本条例」施行。水道料金・下水道使用料のコンビニ納付開始。水道水源保護地域を指定。ふるさと会館閉館。「県立新発田病院跡地整備構想」策定。「新発田市政における法令遵守の推進等に関する条例」施行。蒔谷虹児記念館が市直営に移管。あそびの森すみよし保育園開園。川東児童クラブ開設
平成18年	2月	NP0法人新発田市総合型地域スポーツクラブ発足。新発田城が「日本100名城」に選ばれる	7月	「新発田市中心市街地活性化推進条例」施行。新発田城三階櫓・辰巳櫓復元5周年記念「三階櫓見学会」開催
	3月	城下町しばたもちもち会発会。西新発田五十公野線の一部（本町～東新町）開通		
	4月	新発田市まちづくり総合計画・中期基本計画、新発田市行政改革推進計画（後期計画）策定。寺町たまり駅、中央町たまり駅、諏訪町たまり駅オープン。地域包括支援センター（中央・東・西・南・北の5か所）設置。有機の里交流センターオープン。菅谷コミュニティセンターオープン。学校給食西共同調理場完成。松浦・豊浦児童クラブ開設		
	7月	「しばたっ子食農給食特区」に認定。豪雨発生、新荒川地区の8世帯25人に避難勧告		
	9月	「広報しばた」有料広告掲載開始		

	9月	市内全小・中学校で「日本語」授業開始。新新バイパス新発田IC立体化（下り線）開通。第64回国民体育大会「トキめき新潟国体」開催、市内ではゴルフ、サッカー、ラグビーフットボールが開催され、29日に高円宮妃殿下が五十公野陸上競技場にお成り		11月	新発田駅 駅東地下通路の改修工事が完了
	10月	5日に秋篠宮、同妃両殿下がカリオン文化館（刀剣伝承館）にお成り。第9回全国障害者スポーツ大会「トキめき新潟大会」（市内ではサッカー）開催、10日に皇太子殿下が新発田中央公園多目的広場に行啓		平成25年 2月	新発田市出身の赤穂義士・堀部安兵衛を顕彰する市民の会「武庸会」が設立100周年を迎える
	11月	「天皇陛下御即位20年をお祝いする国民祭典・第1部奉祝まつり」に上町・下町・四ノ町・両町の「しばた台輪」4台が参加。市の部署の一部が「市役所別館」に移転		3月	国道290号荒町バイパスが開通。「新発田市新エネルギービジョン」策定
	12月	「新発田市食の循環によるまちづくり推進計画」策定		5月	「新発田市地域福祉（活動）計画」策定。新発田市農業研修センターが新発田市農業サポートセンターにリニューアル
平成22年	2月	「新発田市民 暮らしの便利帳」発行		6月	村尻遺跡出土品が国重要文化財に指定。新発田市名誉市民 重要無形文化財保持者である、刀匠・天田昭次氏が逝去
	4月	ななは保育園開園。総務課内に「新庁舎建設室」開設。東豊第2・外ヶ輪・猿橋第2・御免町第2児童クラブ開設。加治川コミュニティセンター（旧新金塚小学校）開設		8月	「新発田市名誉市民 重要無形文化財保持者 故 天田昭次先生お別れの会」を執り行う。併せて、遺作展を開催
	5月	紫雲寺中学校竣工。林道新発田南部線開通。「議会報告会」を市内10か所で初開催		9月	「新発田市中心市街地活性化基本計画」全部改訂。「新発田駅前複合施設整備基本方針」策定。子育て応援カード事業「しばたし子育てきらきらかード」発行。農業サポート人材バンク開始
	6月	「食の循環によるまちづくり」の大使に、俳優の永島敏行さんが決定		10月	「住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度」開始。新しい松塚漁港が開港、松塚漁港まつり開催
	8月	ロボット格闘技大会「ロボワン in 新発田」開催		11月	義士親善友好都市交流会議（忠臣蔵サミット）開催。しばた軽トラ市初開催。新発田駅リニューアル。「新発田市差別のない人権が尊重されるまちづくり条例」施行
	9月	「食の循環しばた モッタイナイ運動」開始。「新発田市核兵器廃絶平和推進基本条例」施行	平成26年	1月	赤穂四十七士木像47躯及び長徳寺義士堂1棟、附「義士堂 額」、天井書画、堀部安兵衛銅像、「萬山不重」額を市の有形文化財歴史資料に指定。山草荷遺跡出土弥生土器19点を市の有形文化財考古資料に指定。旧会津街道松並木を市の天然記念物に指定。新発田ブランド認証審査会開催、10品が認証される
平成23年	10月	「しばたのおかず 〜郷土の食材と料理〜」発刊		2月	清水園内に「堀部安兵衛伝承館」開館
	11月	「新発田市新庁舎建設基本構想」策定		3月	市道五十公野バイパス線開通。川東・竹俣・車野小学校閉校。佐々木保育園閉園
	1月	「市長等の給料の特例に関する条例」施行		4月	川東・竹俣・車野小学校が統合し「川東小学校」が開校。七葉コミュニティセンターオープン。川東コミュニティバス運行開始。旧県知事公舎記念館が食の迎賓館にリニューアル。しばたん観光バス運行開始。し尿処理施設「新発田クリーンアップいなほ」稼働開始。あやめこども園開園
	2月	TBSドラマ「3年B組 金八先生」の収録が新発田城などで行われる		5月	陸上自衛隊新発田駐屯地「白壁兵舎広報史料館」リニューアルオープン。月岡温泉開湯百年祭開催、「手湯の杜」「プレミアムSAKE蔵」オープン
	3月	東日本大震災発生、カルチャーセンター及びサン・ビレッジしばたを一次避難所として開設。新発田幼稚園開園。財団法人「新発田市まちづくり振興公社」解散		6月	市民公開地理情報システム運用開始。あやめサミットin新発田開催。旧竹俣小学校の校舎を活用した「県立村上特別支援学級いじみの分校竹俣校」が開校
	4月	新発田市観光協会設立。市民相談センター開設。救急診療所・休日救急歯科診療所が移転。あい保育園・まごころ保育園しばた開園。「新発田市新庁舎建設に関する全世帯アンケート」実施。一次避難所を閉鎖し、月岡温泉の旅館・ホテル11施設を二次避難所として開設		7月	新発田城三階櫓・辰巳櫓復元10周年記念「三階櫓見学会」開催
	5月	はつらつ仕事館開設		8月	新庁舎建設工事開始。新発田市に合った人口減少問題対策を検討する「未来創造プロジェクトチーム」が始動。映画「ストロボ・エッジ」の撮影が県立新発田高等学校などで行われる
	6月	「新発田市民のきずなを深め『いのち』を守る条例」施行		10月	新発田駅前複合施設建設工事開始。「天田昭次記念館」オープン
	10月	市立図書館の運営業務を直営化	平成27年	2月	子育てきらきらメール配信開始
	11月	市内在住のバンド「桑名シオンwithパタヤビーチボーイズ」による市応援ソング「Smile」が完成・CD化		3月	赤谷小学校閉校、米倉小学校に統合
平成24年	12月	「新発田市新庁舎建設基本計画」策定。「紫雲閣」が市指定有形文化財・建造物に指定		4月	認定こども園わかば幼稚園開園。住吉第2児童クラブ開設。「新発田市男女共同参画推進条例」施行
	4月	「新発田市まちづくり総合計画」基本構想・基本計画・実施計画を策定。市街地循環バスが本格運行を開始。名称は、市民公募の結果「あやめバス」に決定		5月	パリの日本文化会館で「落谷虹児展」開催。「新発田市漁業共同利用施設（おさかな市場）」オープン
	5月	「新発田市民 暮らしの便利帳2012」発行			
	7月	「新発田市暴力団排除条例」施行。「韓日ハンマウム（絆）フェスティバル〜東日本大震災市避難者激励のつどい〜NANTA公演」を駐新潟大韓民国総領事館とともに開催			
	8月	救急医療キットの配布開始。県立旧新発田病院解体工事に伴う掘削作業中に、新発田城二ノ丸の土橋石垣を発見			
	9月	羽越本線が開通100周年を迎える			

平成28年	7月	乳児園はるにれ・めばえ保育園開園	平成31年	3月	「健康長寿アクティブプラン」策定
	9月	「新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏構想」において、新発田市が中心市宣言を行う		4月	「松浦屋内多目的運動場」オープン
	10月	新発田市人口ビジョン・新発田魅力創造戦略を策定、パルkids陽だまり園開園	令和元年	7月	新潟食料農業大学と「包括的連携に関する協定」を締結
	12月	「認知症カフェ よ・らっしえ」オープン		10月	第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術文化祭にいがた大会で当市は将棋フェスティバルを開催
	3月	新発田市まちづくり総合計画を改定、紫雲寺支所を健康プラザしうんじ内に移転、「まちの駅」閉館。新発田市食の循環によるまちづくり推進計画改訂		11月	天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典奉祝まつりに「新発田台輪」参加
	4月	「アイネスしばた」開園。あおばこども園・認定こども園東幼稚園・認定こども園優の森保育園・認定こども園あそびの森すみよし保育園開園。新発田市環境基本計画（第2次）策定。「新発田市水道局料金センター」設置。御免町第3児童クラブ開設。「新生しばた記念事業～新たな100年に向けて～」を開始	令和 2年	3月	新発田市まちづくり総合計画・新発田魅力創造戦略・新発田市行政改革大綱を改定。西園幼稚園・西園保育園・ひまわり学園閉園
	7月	「新発田駅前複合施設（イクネスしばた）」オープン。イクネスしばた内に旧図書館が移転、中央図書館オープン。「青少年宿泊施設（あかたにの家）」オープン。都市計画道路「西新発田五十公野線」の中環状道路部全通		4月	「健康長寿アクティブ交流センター」・「ふれあい福祉センター」オープン。私立西園保育園・ひまわり学園・認定こども園ルンビニ保育園開園
	9月	川東コミュニティセンターオープン、新発田市農業サポートセンターを同コミュニティセンター内に移転	令和 3年	3月	日本郵便(株)新発田市内郵便局と「包括連携に関する協定」を締結。北越後農業協同組合グループと「包括連携に関する協定」を締結。菅谷・中浦・天王・荒橋・本田小学校閉校。加治川幼稚園閉園。ボランティアセンターの「新発田市地域づくり支援センター」をヨリネスしばたへ統合。新発田市食の循環によるまちづくり推進計画改訂
	10月	「新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏形成協定」を締結		4月	「新発田市歯と口腔の健康づくり推進条例」施行。菅谷小学校と七葉小学校が統合。中浦・天王・荒橋・本田小学校が統合し、「豊浦小学校」が開校。認定こども園百華保育園開園。松浦地区デマンド（予約型）乗合タクシー「まつうら号」本格運行開始
	11月	「しばた・ときめき体操」DVD完成。新発田市農業サポートセンター取壊し		6月	ゼロカーボンシティ宣言
平成29年	12月	旧市庁舎閉庁		10月	豊浦地域コミュニティバス「本田・天王号」・豊浦地域予約型乗合タクシー「中浦・荒橋号」運行開始
	1月	「ヨリネスしばた」開庁。エフエムしばた「ヨリネス街角スタジオ」オープン	令和 4年	3月	新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏共生ビジョン(第2期)策定
	2月	新発田市歌「虹の橋をわたって」が完成。新潟職業能力開発短期大学校と「包括的連携に関する協定」を締結		4月	「道の駅加治川」リニューアルオープン。加治川地域が過疎地域に指定される。「新発田市持続的発展計画」策定
	3月	「新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏共生ビジョン」を策定、「新発田市都市計画マスタープラン」改定、新発田市立地適正化計画策定。新発田市地域公共交通網形成計画策定。都市計画道路「五十公野公園荒町線」の豊町ー荒町間の開通により、外環状道路全通。「新潟広域都市圏」連携協約を締結		5月	長岡技術科学大学と「包括連携に関する協定」を締結
	4月	「暮らしのガイド」発行。認定こども園新発田聖母こども園開園。介護保険サービスの一部が移行し、総合事業がスタート。新発田市消費生活センター設置（市民相談センターと併設）		7月	東豊コミュニティ防災センターオープン
	5月	「新発田市新庁舎開庁・市制施行70周年記念式典」開催		10月	新発田市シェアオフィス「キネス天王」オープン
	10月	「新発田市地域づくり支援センター」が、ヨリネスしばたとボランティアセンターにオープン		11月	豊浦保健センターに「ハピネス☆（きらきら）しばた」オープン
		「こども発達相談室」が猿橋コミュニティセンター2階内に移転。エフエムしばた開局20周年記念式典開催	令和 5年	12月	紫雲寺児童館・加治川児童館閉館
	11月	「知事とのタウンミーティング」開催		4月	「蔵春閣」オープン、認定こども園キッズ陽だまり園・三の丸こども園・認定こども園めばえこども園・認定こども園パルkids陽だまり園・認定こども園エンジェルkids陽だまり園・にしぞのこども園開園
	3月	松浦・五十公野・米倉小学校閉校。国保紫雲寺診療所閉院。「新発田市空家等対策計画」策定			「こども家庭センター」オープン
平成30年	4月	松浦・五十公野・米倉小学校が統合し、東小学校が開校。認定こども園あいこども園開園。「新発田市ハザードマップ」更新。松浦地区デマンド（予約型）乗合タクシー「まつうら号」実証運行開始		5月	「児童運動センター（ユウネスしばた）」オープン
	7月	「新発田市立歴史図書館」オープン。新発田駅前複合施設（イクネスしばた）「10代の居場所カフェ」事業開始		6月	新発田市教育支援センター車野校開校
	10月	エンジェルkids陽だまり園開園。「日韓美術交流展」開催。新発田駅前複合施設（イクネスしばた）で来館者が100万人達成		9月	(株)ウオロクホールディングスと「包括連携に関する協定」を締結
			令和 6年	3月	イオン(株)と「地域貢献連携協定」を締結。五十公野保育園閉園。サン・ワークしばたを廃止し、金蘭荘に統合。新発田市まちづくり総合計画・新発田魅力創造戦略・新発田市行政改革大綱を改定
				4月	認定こども園たから保育園開園。新発田市学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を東豊小学校に導入
				7月	「新発田市パートナーシップ・ファミリーシップ制度」開始
			令和 7年	3月	紫雲寺・米子・藤塚小学校が統合し、紫雲寺小学校が開校。新発田市食の循環によるまちづくり推進計画改定
				4月	「新発田市こども基本条例」施行。「新発田市こども計画」策定。加治川児童クラブ移転新築

市民のくらし

		出生	死亡
			
		1日あたり1.2人 (R6年度426人)	1日あたり4.1人 (R6年度1,489人)
転入	転出	結婚	離婚
			
1日あたり6.6人 (R6年度2,401人)	1日あたり6.7人 (R6年度2,440人)	1日あたり0.8組 (R6年度284組)	1日あたり0.3組 (R6年度124組)
上水道使用量	都市ガス使用量	交通事故発生件数	火災発生件数
			
1日あたり1万9,608 ^m ₃ (R6年度715万7,034 ^m ₃) ※一般家庭用	1日平均2万6,892 ^m ₃ (R6年)※一般家庭用 資料提供 新発田ガス(株)	1日あたり0.32件 (R6年 118件)	1か月あたり1.67件 (R6年 20件)
家庭ごみ収集量	資源物収集量	個人市民税	医院・病院数
			
※資源物を除く 1日あたり43.3 t (R6年度 15,792 t)	1日あたり6.9 t (R6年度 2,522 t)	1人あたり4万1,283円 (R6年度)	市民1,112人に対し 1施設(R7.3.31 現在) ※歯科除く

令和7年11月4日発行 新発田市みらい創造課
<https://www.city.shibata.lg.jp>